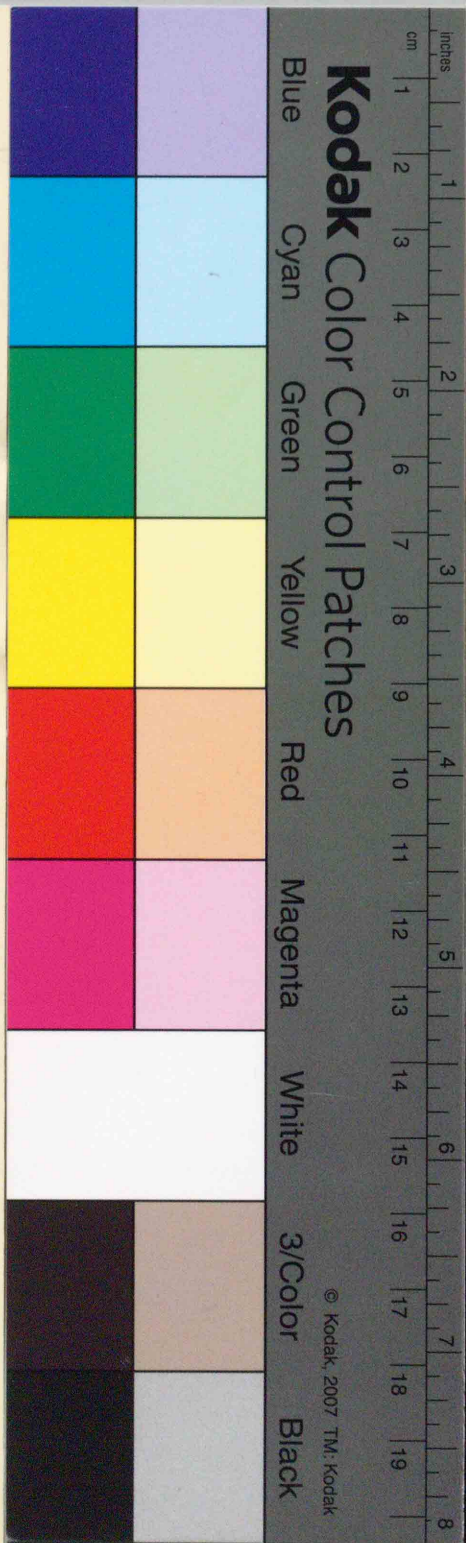


41032

教科書文庫

4
760
42-1940
01304 49450



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

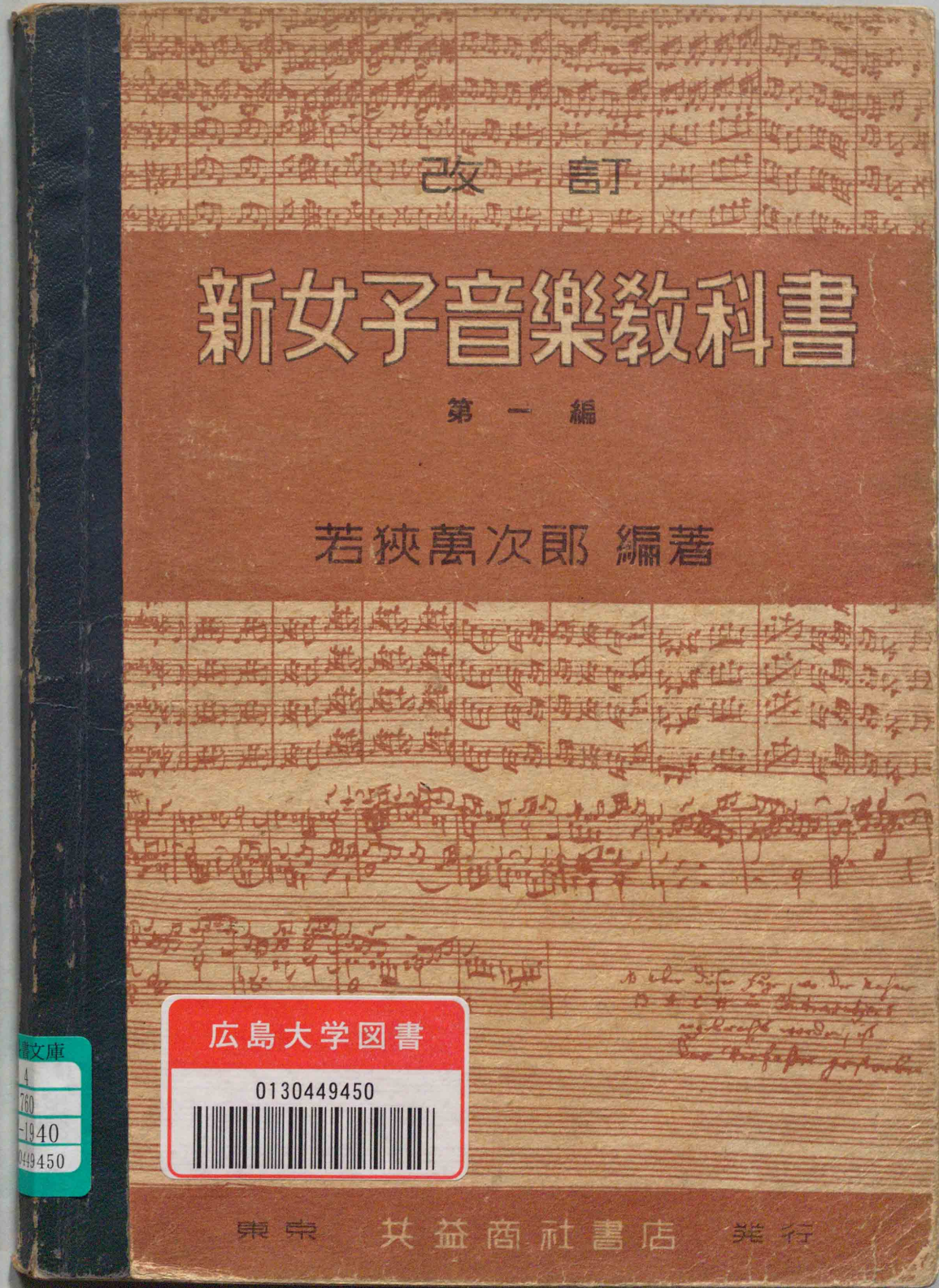
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



広島大学図書
0130449450

教科書文庫
4
760
-1940
0130449450

東京 共益商社書店 発行

中中圖書

教科書文庫

4

760

42-1940

0130449450

昭和十五年十月一日

文 部 省 檢 定 済

、 高 等 女 學 校 音 樂 科

改 訂

新女子音樂教科書

若狹萬次郎編著

第一編



広島大学図書

0130449450



東 京

合 資 會 社 共 益 商 社 書 店 發 行

書物未付

広島大学図書
0130449450




Louis Van Daele

バハ J. S. Bach (獨) 新教宗教樂の最大作家、古今無
 双のオルガン大家、フーガ形式の大成者、平均律音
 階の採用者。世に近世音楽の祖と稱される。代表作
 は『聖マタイ受難樂』『聖ヨハネ受難樂』『平均律ピア
 ノ曲集』等。

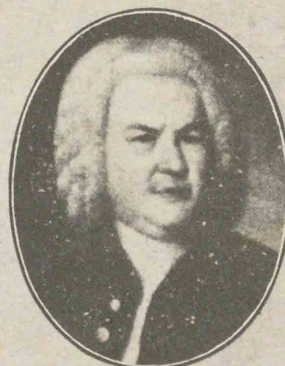
ヘンデル G. F. Händel (獨) 歌劇及びオラトリオの大
 作家、オルガン大家。代表作はオラトリオ『メシヤ』
 『埃及に於けるイスラエル』『ニューダス・マカベウス』等。

ハイドン F. J. Haydn (奥) 絃樂四重奏、交響曲及び世
 俗的オラトリオの創始者。世に交響曲の父と稱され
 る。代表作はオラトリオ『天地創造』『四季』、交響曲『告
 別』『驚愕』『玩具』『軍隊』、絃樂四重奏曲『皇帝』等。

モーツァルト W. A. Mozart (奥) 音楽の各部門に互り
 最も世界的な天才的作曲家。代表作は歌劇『ドン・ジ
 ュアン』『魔笛』『フガロの結婚』、交響曲『ジュー
 ター』『レクイエム』等。

ベートーヴェン L. van Beethoven (獨) 古典派よりロ
 マン派に互る大巨匠。代表作は交響曲『英雄』『運命』
 『田園』『合唱』、歌劇『フィデリオ』、ヴァイオリン・ピア
 ノソナータ『クロイツェル』、ピアノ競奏曲『帝王』
 ピアノソナータ『月光』等。音楽の各部門に互つて
 多数の不朽の名作を残す。

ブラームス J. Brahms (獨) 新古典派の巨匠。バハ、
 ベートーヴェンと共に獨逸の偉大なる三Bと稱され
 る。代表作は交響曲『第四』、ピアノ曲『ヘ短調のソ
 ナータ』『ハンガリア舞曲』、『獨逸語のレクイエム』
 ヴァイオリン競奏曲『長調』等。



Bach



Mozart



Händel



Beethoven



Haydn



Brahms

絃樂器の合奏圖



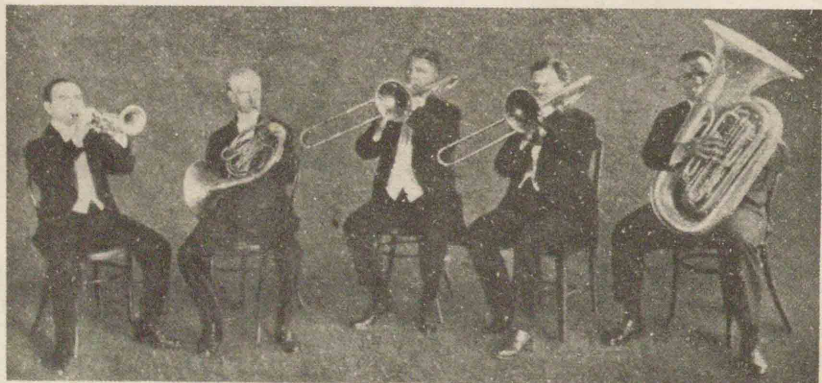
ヴァイオリン ヴァイオリン ハープ コントラバス ヴィオラ チェロ

木管樂器の合奏圖



コントラファゴット バスクラリネット コールアングレ フルート ピッコロ
ファゴット クラリネット オーボエ

金管樂器の合奏圖



トランペット ホルン トロンボーン トロンボーン チューバ

宮城道雄
作曲

緒言

一 本書は曩に編纂した新女子音楽教科書を高等女学校四年制のものとして改訂したものである。

改訂に際しては特に教材の精選と楽曲・歌詞の調和とに留意し、更に歌詞については之を雅正にして藝術的且教育的ならしめんことに努めた。

歌曲を比較的多数に輯録したのは、増加教材或は鑑賞的教材の補充、又は情況による教授者の適切且自由な教材選擇の便益等に資せんが爲である。

一 基本教練・音楽理論等は各學年の程度に應じて適當と認めたものを輯録した。

一 又儀式用唱歌・外國語唱歌・各國國歌・著名音楽家年表・樂式關係用語類纂等は各學年の程度に應じて適當と認めたものを附録として輯録した。

一 終に、本書の編纂にあたつて、多大の援助を與へられた先輩諸大家の厚き好意に對し、深く感謝の意を表する次第である。

昭和十四年九月

編著者識

さしのぼる

Moderato.

岡本敏明 謹作

さ し の ぼ る あ

さ ひ の ご と く さ わ や か

に も た ま ほ し き は こ

こ ん な り け り

明治天皇御製

日

さしのぼる

朝日のごとく

さわやかに

もたまほしきは

心なりけり

昭憲皇太后御歌

金剛石

金剛石もみがさずば
 珠のひかりはそはざらむ
 人もまなびてのちにこそ
 まことの徳はあらはるれ
 時計のはりのたえまなく
 めぐるがごとく時のまの
 日かげをしみてはげみなば
 いかなるわざかならざらむ
水は器
 水はうつはにしたがひて
 そのさまくになりぬなり
 人はまじはる友により
 よきにあしきうつるなり
 おのれにまさるよき友を
 えらびもとめてもろとも
 こゝろの胸にむちうちて
 まなびの道にすゝめかし

Andante. ♩ = 92.

女子学習院 撰定

p

コンガウセキモミガカズバ
みづはうつはにしただがひて

タマノヒカリハソハザラム
そのさまざまになりぬなり

ヒトモマナビテノチニコソ
ひとはまじはるともにより

mf

マコトノトクハアラハルレ
よきにあしきにつるなり

f

トケイノハリノタエマナク
おのれにまさるよきともを

mp

メグルガゴトクトキノマノ
えらびもとめてもろともに

mf

ヒカゲヲシミテハゲミナバ
こころのこまにむちうちて

f

イカナルワザカナラザラム
まなびのみちにすすめかし

改訂
新女子音楽教科書

第一編
目次

さしのぼる
金剛石・水は器

基本教練

發聲練習	1
音階練習	1
讀譜練習	2
音程練習	6
複音練習	10

歌曲

春風	14	14
岩もる水	15	15
胡蝶	16	17
遠足	18	17
谷間のせせらぎ	19	19
五月晴	20	21
うつくしき	22	21
夏は来る	23	23
朝露	24	24
夕映	25	25

望郷	26	26
子守歌 (Schubert)	27	28
水上の樂の音	29	28
樂しき森	30	30
森に咲く花	31	31
野中の薔薇	32	33
雲	34	33
荒城の月	35	35
我等の海原	36	36
この國この君	37	38
ローレライ	39	40
秋の山路	41	41
花賣	42	42
旅愁	43	44
さらば我が家	45	44
故郷の廢家	46	47
湖畔の夕	48	47
秋の散歩	49	50
うるはし天然	51	50
母のおもひ	52	53
春へのあこがれ	54	53

歡喜	55	56
空の光	57	56
王の行進	59	61
春の小川 (輪唱)	62	62
郭公 (輪唱)	63	63
晨の鐘 (輪唱)	64	64
皇國	65	66
高嶺	67	66

樂典

1. 音名	68
2. 全音程と半音程	70
3. 譜表	70
4. 音部記號	71
5. 音符	72
6. 休止符	74
7. 拍子	75
8. 音階 (其の一)	79
9. 音程 (其の一)	81
10. 變化記號	81
11. 速度標語	83
12. 發想標語並に發想記號	85
13. 雜記號	87
14. 反復記號	88
15. 音階 (其の二)	89
16. 音程 (其の二)	93

附錄

(鑑賞參考曲)

春を讀へん	95	95
五月の朝	96	96
湖畔の曉	97	97
榮光	98	99
アロハオエ	100	99
ドナウの漣	101	103
~~~~~		
The cuckoo	104	
Twinkle, twinkle, little star	105	
Are you sleeping?	105	
Lightly row	106	
The bell is ringing	107	
The mill	108	
Old folks at home	109	
~~~~~		
滿洲國國歌	111	
God save the King	112	
The Star-spangled Banner	113	
陸軍記念日を祝ふ歌	115	116
海軍記念日の歌	117	118
聖壽無窮	119	120
創立記念日	121	122
萬歲	123	122
螢の光	124	124
卒業式の歌	125	126

發聲練習

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.

音階練習

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

讀譜練習

八長調

六 二 ホ 八 ト イ 白 六 六 二 ホ 八 六 二 六

1.

2.

3.

4.


5.

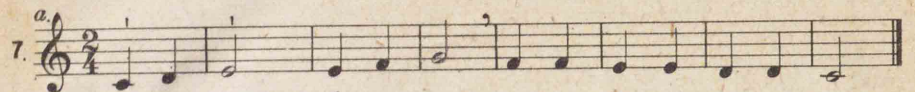
讀譜練習


卜長調

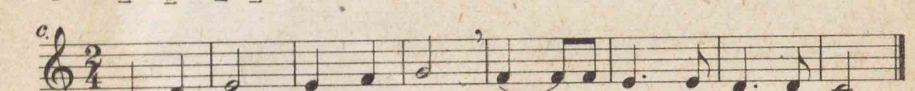
イ 白 六 二 ホ 嬰 八 ト イ 白 六 二 ホ 嬰 八 ト

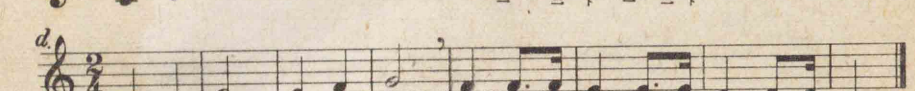
1.

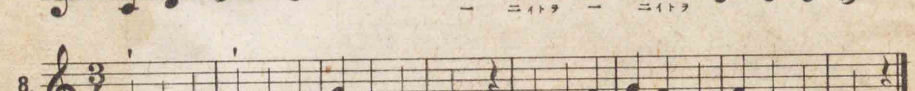
6. 

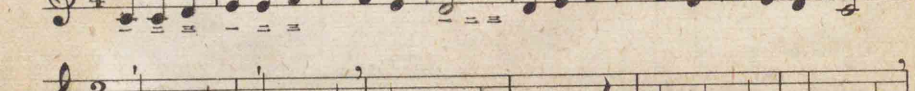
7. ^{a.} 





^{c.} 

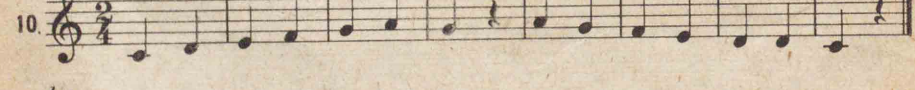
^{d.} 


8. 

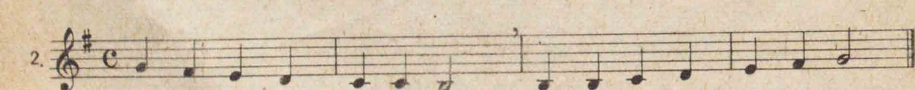
9. 





10. ^{a.} 





2. 


3. 

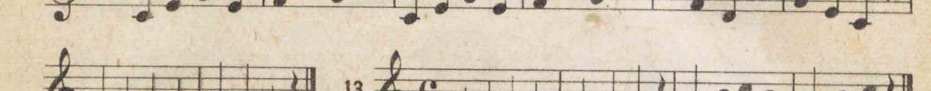


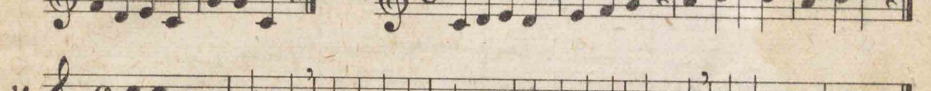
^{c.} 

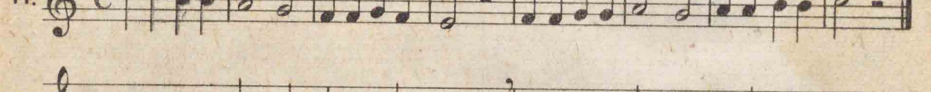
11. 

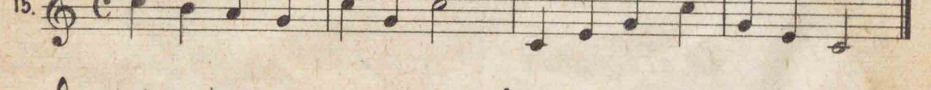


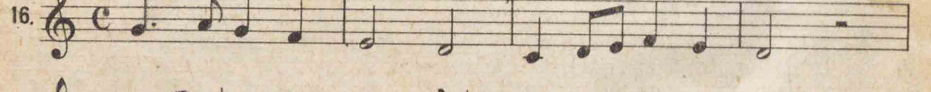
12. 




13. 


14. 

15. 


16. 




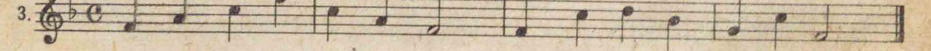
へ 長 調



イ 嬰 八 三 ホ へ ト イ 嬰 八 三 ホ へ ト

1. 

2. 

3. 

17. 

19. 

20. 

21. 

二長調 

1. 

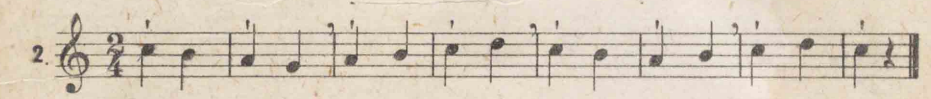
2. 

3. 

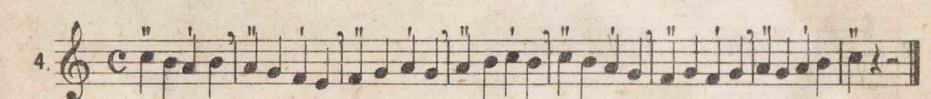
音程練習
二度音程



1. 

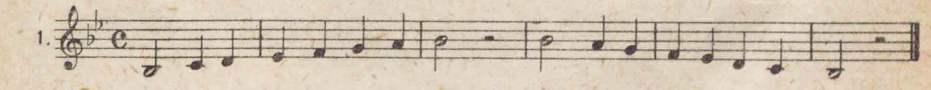
2. 

3. 

4. 

5. 

變口長調 

1. 

2. 

3. 

6. *a.* 
b. 


7. 

8. 










9. 

1 長調



イ 口 嬰八 三 木 嬰八 嬰ト イ 口 嬰八 三 木 嬰八 嬰ト

1. 
2. 
3. 


10. 

11. 


12. 


13. 

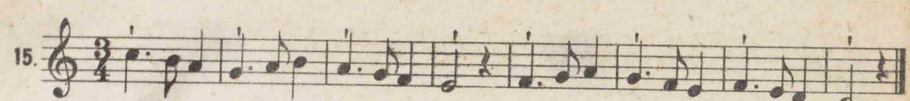
變木長調

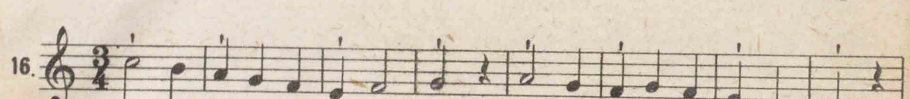


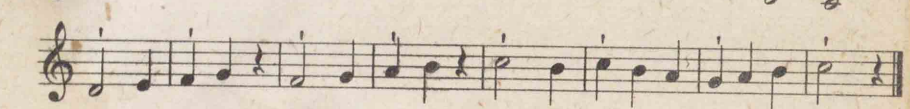
嬰イ 嬰口 八 三 嬰木 八 ト 嬰イ 嬰口 八 三 嬰木 八 ト

1. 
2. 
3. 

14. 

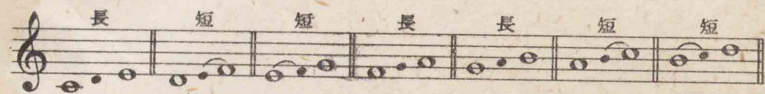
15. 

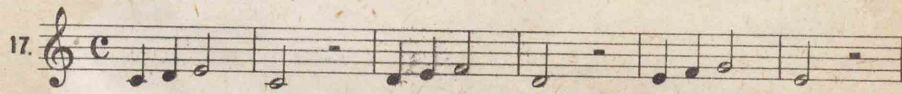
16. 

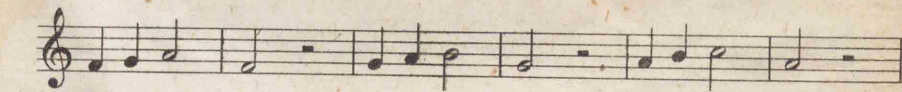


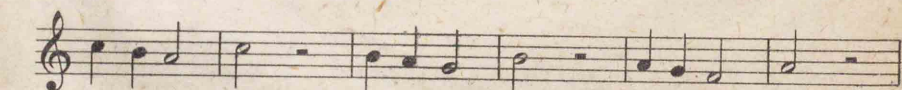
三度音程

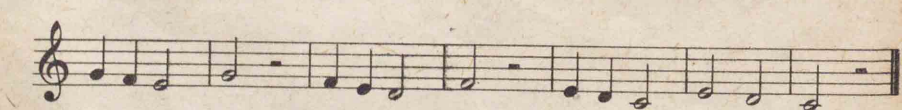
長 短 短 長 長 短 短



17. 








(和聲的短音階) 1 短 調


1. 


(旋律的短音階)

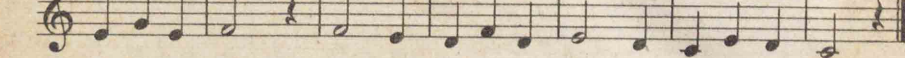
2. 


3. 

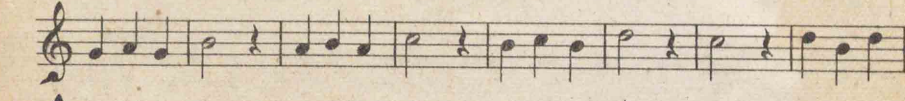
18. 

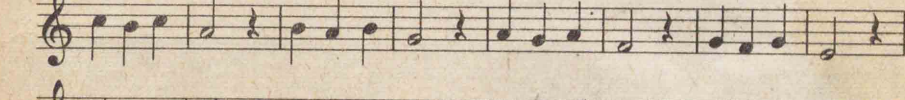


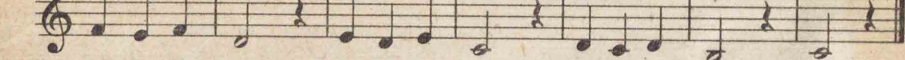






19. 

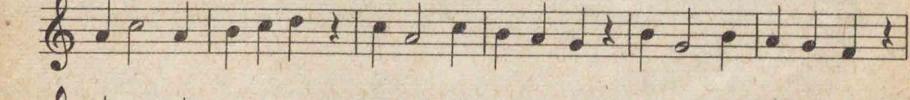







20. 







複音練習

1. 

2. 

3. 

21.

22.

23.

24.

25.

4.

5.

26.

27.

28.

29.

30.

6.

7.

31.

32.

33.

34.

8.

9.

春 風

Moderato.

Hatton.

一 ス ミレ サ クー ツ ツー ミ
ニ さ くら ち るー み づー に

テ フ ノ ユ メ サ メ テ ツ バ メ トー プー
う か ぶ う を み え て わ た し まー つー

ナー ハー テ ハ ル ノ カ ゼ ノ ド カ
かー はー ら は る の か ぜ か ろ し

春 風

一 董 咲 く 堤

蝶 の 夢 覺 め て

燕 飛 ぶ 暖

春 の 風 の ど か

二 櫻 散 る 水 に

浮 ぶ 魚 見 え て

渡 し 待 つ 川 原

春 の 風 輕 し

堀 澤 鹿 峽

岩もる水

♩ = 92. *p* *Merling.* *mf*

一 イーハモルミーツモマーツ
二 あーなおもしーろのこーよ

フーケーカゼモシーラベエヲ
ひーのーつきやこーこーろーに

mf
ソーフールツーマゴトノーネヤシ
かーかーるくーもきりもーなし

岩もる水

(小學唱歌集)

一 いはもる水も
松ふく風も
しらべをそふる
つま琴の音や

二 あなおもしろの
こよひの月や
こころにかかる
雲霧もなし

胡蝶

Allegretto. *mf* *ドイツ民謡曲*

一 ハールマヒルヒーハノドカサカリト
二 あーをあらしーとふけばほそたに

サケルヒーボタンニアーソフテフ
がはのみーづのうへちーるはなと

カグロキアーゲハソヨロソヨロ
みだるるこーてふましろみづは

p *f* *mf*
カーゼタチハナモテフモトーモニ
あーひふれとぶよみづのかーげも

dim. e rall.
ヒーラヒラヒーラヒラヒーラー
ひーらひらひーらひらひーらー

遠 足

Allegretto.

ドイツ民謡曲



一、ハ レ ユ ク オ ホ ゾ ラ ヒ ハ テ リ ハ エ テ
 二、こ か げ も い ろ こ き た に ま の み ど り
 三、ヒ ト ヒ ノ オ モ ヒ デ コ コ ロ ニ コ メ テ



ト モ ド チ ウ チ ツ レ エ ン ソ ク ウ レ シ
 と も ど ち つ ど ひ て か た し く を ぐ さ
 ウ ス ツ ク ヒ ザ シ ニ タ ド ル ヤ イ ヘ チ



サ ヤ カ ニ コ エ ス ル ヒ バ リ ノ タ カ ナ ノ リ
 を ね に は く も と び ふ き くる あ を あ ら し
 ホ テ リ シ ホ ホ ニ ハ ス ズ カ ゼ コ コ ロ ヨ ク



モ ユ ル ヤ ヒ ロ ノ ハ ク サ ノ カ コ メ テ
 か た み に う た へ ば こ だ ま は た か し
 サ ト ユ ク ヲ ガ ハ ニ ユ フ バ エ ナ ガ ル

胡 蝶

水町京子

一 春ま晝 日はのどか

さかりと咲ける 緋牡丹に

あそぶ蝶 かぐるき揚羽

そよろそよろ風立ち

花も蝶もともに

ひらひらひらひらひら

二 青嵐 さと吹けば

細谷川の 水の上

散る花と みだるる胡蝶

眞白瑞羽あひ觸れ

とぶよ水の影も

ひらひらひらひらひら

遠 足

藤田 健治

一 晴れ行く大空日は照りはえて

友どち打連れ遠足嬉し

さやかに聲する雲雀の高名告

燃ゆるや廣野は草の香こめて

二 樹蔭も色濃き谷間の緑

友どち集ひて片敷く小草

尾根には雲飛び吹き来る青嵐

かたみに歌へば舒は高し

三 一日の思ひ出心にこめて

うすづく日ざしに辿るや家路

火照りし頬には涼風快く

里行く小川に夕映流る

谷間のせせらぎ

Tempo di marcia.

ドイツ民謡曲

二アハレナニヲカタル
三あはれなニをかた

タニマノナガレベイシニフミテ
タズゑのしからいたにのみづと

セセラギツタシノシキシラベクシ
よせびかはすしぜんのしをごとしぜんの

ネイロトハニツキズヒビクナリ
つづみとはにつきずひびくなり

谷間のせせらぎ

森迫武

一あはれ何を語る谷間の流
石に觸れてせせらぎつ
樂しき調奇しき音色
とはに盡きず響くなり

二あはれ何を語る梢の調
谷の水と呼びかはす
自然の小琴自然の鼓
とはに盡きず響くなり

五月晴

Moderato.

ドイツ民謡曲

一フジノネヒトリーユキヲミーセ
二うどはまとほくあさひさし

テソーラモスソーノモミ
てしほもまさごもさ

ドリイーローコーキサツキバーレー
やにひかーれーりさつきばーれー

ニワーカバシーゲーレールコー
にしぶきくーだーくーるい

カゲスズーシークセミハイコーフ
そべーたーのーしーくかにははしーる

五月晴

堀澤 鹿 峽

一 富士の嶺ひとり 雪を見せて
空も裾野も みどり色濃き

五月晴に

若葉繁れる 樹蔭涼しく
蟬は憩ふ

二 有度濱遠く 朝日さして
潮も眞砂も さやかに光れり

五月晴に

飛沫くだくる 磯邊楽しく
蟹は走る

うつくしき

(小學唱歌集)

一 うつくしきわが子やいづこ
うつくしきわが かの子は
弓とりて君のみさきに
勇みたちて別れ行きにけり

二 うつくしきわが子やいづこ
うつくしきわが かの子は
太刀はきて君のみもとに
勇みたちて別れ行きにけり

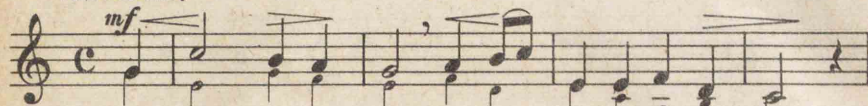
三 うつくしきわが子やいづこ
うつくしきわが 子の子は
矛とりて君のみあとに
勇みたちて別れ行きにけり

うつくしき

スコットランド民謡曲

Andante.

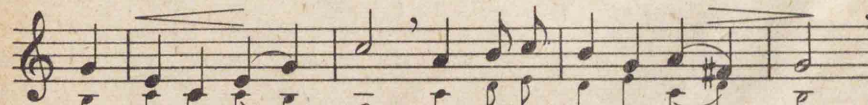
mf



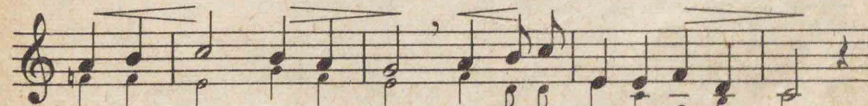
一 ウ ツ ク シ キ ワ ガー コ ヤ イ ツ コ
二 う つ く し き わ がー こ や い づ こ
三 ウ ツ ク シ キ ワ ガー コ ヤ イ ツ コ



ウ ツ ク シ キ ワ ガー カ ミ ノ コ ハ
う つ く し き わ がー な か の こ は
ウ ツ ク シ キ ワ ガー ス エ ノ コ ハ



一 テ キ ミ ノ ミ サ キ 一 ニ
二 ユ ミ ト リ 一 テ キ ミ ノ ミ ア ト 一 ニ
三 ホ コ ト リ 一 テ キ ミ ノ ミ ア ト 一 ニ



イ サ ミ タ チ テ ワ カ レ ユ キ ニ ケ リ
い さ み た ち て わ か れ ゆ き に け り
イ サ ミ タ チ テ ワ カ レ ユ キ ニ ケ リ

夏は来る

Allegro. Weber. *mf*

一. ア シ タ ニ ハ ベ ユ ケ バ ウ
 ニ. ま ひ る の ベ を ゆ け ば か
 三. ユ フ ベ チ マ タ ユ ケ バ ソ

ノ ハ ナ チ リ テ シ ラ ユ リ カ フ リ
 が や く そ ら に し ら く も そ び え
 ヨ カ ゼ フ キ テ ス ズ カ ケ サ ヤ キ

ク サ ノ ツ ユ モ シ ゲ
 こ か げ そ ぞ ろ し た し
 シ ロ キ キ ヌ モ カ ロ シ

一. 晨 庭邊行けば
 卯の花散りて
 白百合薫り
 草の露も繁し

二. 眞晝 野邊を行けば
 かがやく空に
 白雲そびえ
 樹蔭そぞろ親し

三. 夕 巷行けば
 そよ風吹きて
 篠懸さやぎ
 白き衣も輕し

夏は来る

友近 季一

朝露

Moderato. ドイツ民謡曲

一. ア サ ギ リ ウ ス レ ヌ
 ニ. あ さ ど り と ひ き ん
 三. ア サ ヒ ハ ノ ボ リ ヌ

カ ゼ ニ サ ヤ グ イ ケ ノ ハ チ ス
 ま ど を の ざ き さ さ に す が リ
 オ モ テ オ コ ス ノ ベ ノ チ グ サ

シ ラ ツ ユ ユ ラ ユ
 し ら つ ユ は ら は キ
 シ ラ ツ ユ は ら は キ

一. 朝霧薄れぬ
 風にさやぐ池の蓮
 白露ゆらゆら

二. 朝鳥訪ひ來ぬ
 窓を覗き笹に縋り
 白露はらはら

三. 朝日は昇りぬ
 面起す野邊の千草
 白露きらきら

堀澤 鹿峽

夕 映

Andante. Nageli.

一 ア キ カ ゼ フ ク
 二 え い ぐわ の ゆ め
 三 イ ノ ラ シン カ ナ

ト ホキチヘー イ ノ ヤ マナー ミシ ロ シ
 と ほきやまー な み は る ばー る み え つ

ユ キノカゲー ナル フ ルサートー ヨ
 や まにゆきー てる ふ る さー とー よ

ノ い モ ゾ ろ ク メ コ シ テ サ あ イ ビ カ ノ シ ケ ラ ア ヤ レ シ

夕 映

一 秋風吹く
野邊遠く
沈む日望めば
淋しや

二 榮華の夢
覺めてゆく
名残の色こそ
赤けれ

三 禱らんかな
夕映に
ただ我黙して
禱らん

官田勝三郎

望 郷

Andante. Hays.

一 タ カキヤカー タ ニ ミ サクールー ヤ
 二 そ らにこがー ら し ふ きはー れー て

ト ホキチヘー イ ノ ヤ マナー ミシ ロ シ
 と ほきやまー な み は る ばー る み え つ

ユ キノカゲー ナル フ ルサートー ヨ
 や まにゆきー てる ふ る さー とー よ

イ カニマシー マ ス タ ラチーネー ハ
 い かにあそー べ る は ら かー らー は

望 郷

一 高き館に見放くるや
遠き地平の山をみ白し
雪のかげなる故郷よ
如何にまします
たらちねは

二 空に木枯ふき晴れて
遠き山をみ遙々見えつ
やまに雪照る故郷よ
如何に遊べる
同胞は

山田實

子守歌

Adagio. *p* Schubert. 編著者 編曲

一 ネ ムレ ネ ムレ ア コ ヨー ネー ム レ
 二 ね むれ ね むれ あ こ よー ねー む れ
 三 ネ ムレ ネ ムレ ア コ ヨー ネー ム レ

コ カ ゲ フ カ キ ユ リ カー ゴー ニ
 な れ が も く ば ま も りー なー ん
 ハ ハ ノ オ モ ヒ ウ タ トー ナー リ

ヤ ス ラ ケ ー ク ウ ー ト ウ ト ー
 や す ら け ー く あ ー し た ま で
 ナ ガ ユ メ ー チ マ ー モ レ バ ー

ホ ホ ト エ マ ヒ コ ヨ ネー ムー レ
 は な と ゑ ま ひ こ よ ねー むー れ
 カ ミ ト エ マ ヒ コ ヨ ネー ムー レ

子守歌

水町京子

一 ねむれねむれ 吾子よねむれ
 木蔭ふかき 搖籃に
 やすらけく うとうと
 ほほと笑まひ 子よねむれ

二 ねむれねむれ 吾子よねむれ
 汝が木馬 守りなん
 やすらけく 朝まで
 花と笑まひ 子よねむれ

三 ねむれねむれ 吾子よねむれ
 母の想 うたとなり
 なが夢路 まもれば
 神と笑まひ 子よねむれ

水上の樂の音

上田壽四郎

一 さゆらげる風に
 樂の音たゆたひつ
 (そよるふく風に樂の音)
 わたれる

二 みどり濃き影に
 白鳥淨らかに
 (みどりなす影に白鳥)
 泛べる

ああ 汝も聴くか樂の音
 たのしげに行く水の上

ああ なみも光る水面を
 樂かなで行くわがふね

水上の樂の音

$\text{♩} = 126.$ *mf* Händel 作
「水上樂」中のメヌエットによって
編著者編曲

一. サ ユラゲル カゼニ ガーク ノ ネ
二. み どりこき かげに しーら と り

一. サ ユラゲル カゼニ
二. み どりこき かげに

タ ユ タ ヒ ツ ワ タ レ ル
き よ ら か に う か べ る

ガーク ノ ネ リ ヲ タ レ ル
しーら と り う か べ る

ア ア ナ ミ モ ヒ カ ル ミー ノ モ ヲ
あ あ な れ も き く か が く の ね

ガ ク カ ナ デ ユ ク ワ ガー フー ネ
た の し げ に ゆ く み づー の へ

樂しき森

Moderato. *p* スコットランド民謡曲

一. ヒカ ゲ モ サ サ ヌー コ ミ チ ヲ バ ワ ケ
二. おち ば を ふ め ばー か さ こ そ と お と
三. コ ケ チ ヲ ヨ チ テー ノ ボ リ コ シ オ イ

イル モ リ ノー タ ノ シ サ ヲ ハ ズ エ ヲ カ ス メ ス ギ
する も り の た の し さ よ こ ず ゑ に う た ふ こ と
キノ モ リ ノー タ ノ シ サ ヲ イ ハ マ ヲ モ レ テ ナ ガ

ユ ク カ ゼ モ ソ ヲ ソ ヲ ソ ヲ トー カ ヲ ヒ キ テ
りの こ ゑ も チ ヲ チ ヲ チ ヲ とー ひ び き き て
ル ル ミ ツ モ サ ラ サ ラ サ ラ トー ツ タ ヒ キ テ

樂しき森

犬童 球 溪

一 日影もささぬ小徑をば
分け入る森の樂しさよ
葉末を掠め過ぎゆく風も
そよそよそよと通ひ来て

二 落葉をふめばかさこそと
音する森の樂しさよ
梢にうたふ小鳥のこゑも
ちよちよちよと響き来て

三 苔路をよぢて登り來し
老木の森の樂しさよ
岩間を洩れて流るる水も
さらさらさらと傳ひ来て

森に咲く花

ドイツ民謡曲

Andante. *p*

一. モ リ カ ゲ ニ サ ク ユ
 二. か を り し う れ し く シ
 三. ヒ ト シ レ ズ サ ク ユ

カ シ ノ ハ ナ ハ モ レ ビ ユ
 た ひ よ れ ば そ よ か せ す
 カ シ ノ ハ ナ キ ヨ ラ ニ エ

ラ ゲ バ ウ ナ ナ ジ ユ ラ グ
 ズ し く な ん ん ん ん ん ん ん
 マ ヘ ル ナ ナ ツ カ シ サ ー ヨ

森に咲く花

一 森蔭に咲く ゆかしの花
 葉洩れ日揺らげば 頸ゆらぐ

二 香うれしく 慕ひ寄れば
 そよ風涼しく 和む心

三 人知れず咲く ゆかしの花
 清らに笑まへる なつかしさよ

野中の薔薇

Werner.

Allegretto. *p*

一. ワ ラ ベー ハ ミ タ リ ノ ナ カー ノ
 二. た を り て ゆ か ん の な かー の
 三. ワ ラ ベー ハ ラ リ ヌ ノ ナ カー ノ

バ ラ キ ヨ ラ ニ サ ケ ル
 ば ら た を ら ば た を れ
 バ ラ ヲ ラ レ テ ア ハ レ

ソ ノ イー ロ メ デ ツ ア カ ズー ナ ガ ム
 お も ひー で ぐ さ に き み をー さ さ ん
 キ ヲ ラー ノ イ ロ カ ト ハ ニー ア セ ヌ

ク レ ナ キ ニー ホ フ ノ ナ カ ノ バーラ
 く れ な る にー ほ ふ の な か の ばーら
 ク レ ナ キ ニー ホ フ ノ ナ カ ノ バーラ

雲

(小學唱歌集)



一 マ タ タ ク ヒ マ ニ ハ ヤ マ フ オ ホ ヒ ウ
二 ヨ フ ヒ に い ろ ど る は し を わ た し み



チ ミ ル ヒ マ ニ モ ウ ミ フ ワ ー タ ー ル ク ー
そ ら に こ る せ ぬ な み を お こ す く



モ テ フ モ ー ノ コ ソ ク ス シ ク ア リ ケ レ ク
も て ふ も の こ そ く す し く あ り け れ く



モ ヨ ク モ ヨ ア メ ト モ キ リ ト モ ミ ル マ ニ カ
も よ く も よ な き か と お も へ ば お ほ ぞ ら お



ハ リ テ ア ヤ シ ク ク シ キ ハ ク モ ー ヨ ー ク モ ヨ
ほ ひ て あ や し く く し き は く も よ く も よ

野中の薔薇

近藤 朔風

一 童は見たり 野中の薔薇

清らに咲ける その色愛でつ

飽かずながむ

紅にほふ 野中の薔薇

二 手折りて往かん 野中の薔薇

手折らば手折れ 思ひ出草に

君を刺さん

紅にほふ 野中の薔薇

三 童は折りぬ 野中の薔薇

折られてあはれ 清らの色香

永久にあせぬ

紅にほふ 野中の薔薇

雲

(小學唱歌集)

一 瞬くひまには 山をおほひ

うち見るひまにも 海をわたる

雲てふものこそ 奇しくありけれ

雲よ 雲よ

雨とも霧とも 見るまに變りて

あやししくしきは 雲よ 雲よ

二 ヨふ日にいろどる 橋をわたし

み空に聲せぬ 波をおこす

雲てふものこそ 奇しくありけれ

雲よ 雲よ

なきかと思へば 大空おほひて

あやししくしきは 雲よ 雲よ

荒城の月

瀧 廉太郎
編者 編曲

Andante.

mf

一 ハルカウロウノハナノエシンメグルサ
二 あきちんえいのしものいんろなきゆく
三 イマクウジャウノヨハノツキハカハ
四 てんじゃうかげはかはらねどえいこは

カヅキカゲサシテチヨノマツガエ
かりカガタのすみせメゾウキつマツるにハ
うカヒウツカよのすめがたカウツコシハカ

ワケイデシムカシノヒカリイマイコ
てりそひしむかしのヒカハイマダアツシ
たいカもなあわうじゃのフハのタはのラツ
まもなほはあわうじゃのフハのタはのラツ

荒城の月 土井 晩 翠

一 春高樓の花の宴
めぐる盃かげさして
千代の松が枝わけいでし
むかしの光いまいづこ

二 秋陣營の霜の色
鳴きゆく雁の數見せて
植うる劔に照りそひし
むかしの光いまいづこ

三 今荒城のよはの月
替らぬ光たがためぞ
垣に残るはただかづら
松に歌ふはただあらし

四 天上影は替らねど
榮枯は移る世の姿
寫さんとてか今もなほ
嗚呼荒城のよはの月

我等の海原

ヴォルガ地方民謡曲
編者 編曲

Andantino.

mf

一 フケフケウミカゼシラナミタテヨウツ
二 をどれよとびうをさけべよかもめとび

マケクロシホタカナリヒビケカヒナハアカ
ちれしぶきよいろどれにじよまくらはたか

ガネゴコロハイハホミドリノウナバラワレ
なみあらしもなにぞはてなきあら

ラガセカイ うみわれらがらくど

我等の海原 上田 壽四郎

一 吹け吹け海風 白波立てよ
うづまけ黒潮 高鳴りひびけ
腕はあかがね ころろは巖
みどりの海原 我等が世界

二 をどれよ飛魚 さけべよ鷗
とび散れしぶきよ 彩れ虹よ
まくらは高浪 あらしも何ぞ
涯なき荒海 我等が樂土

この國この君

Con spirito.

Schaw.

mf

一 アサヒヨモヲテラセリ コレゾミーク
二 そらになびくひのはた これぞみーク

ニ ノゲニスガタナリケル タフ
に のげにひかりなりける めで

トキコノグーニ ゲニヤアマツヒカ
たきこのくーに たかくかかるあま

リノ サナガラテラセルゴト シラ
つひ これこそわがみかどの げに

シタマフースメロキ カシコヤコノキ
もみいつなりけれ かしこやこのき

ミ ヨモノクニニヒイツル クニ
み よものくににひいづる くに

ノスガタメデタヤ チヨニツヅキーサカ
のすがためでたや ちよにつづきーさか

ユケ コノクニコソキー
ゆく このくーにこのきー

この國この君

森 迫 武

一 朝日四方を照らせり これぞ御國の
げに姿なりける たふときこの國
げにやあまつ光の さながら照らせるごと
知し給ふすめろぎ かしこやこの君
四方の國に秀づる 國の姿めでたや
千代につづき榮ゆく この國この君

二 空になびく日の旗 これぞ御國の
げに光なりける めでたきこの國
高くかかるあまつ日 これこそ我がみかどの
げにも御稜威なりけれ かしこやこの君
四方の國に秀づる 國の姿めでたや
千代につづき榮ゆく この國この君

ローレライ

Andante.

Silcher.
編者編曲

mf

一 ナ ジ カ ハ シー ラ ネ ド コ コ ロ ワー ビ
二 う る は し を と め の い は ほ に た ー ち
三 コ キ ユ ク フー ナ ビ ト ウ タ ニ ア コ ガ

テ ー ム カ シ ノ ツ ー タ ヘ ハ ソ
レ ー コ が ね の く ー し と ー り ア
ゾ ロ ミ ニ シ ム ー サ ビ シ ク ク ー レ
み の み だ れ を ー と き つ つ く ち ず
フゲ バ ヤー ガ テ ー ナ ミ マ ニ シ ー ツ

mf

ユ ー ク ラ イン ノ ナ ー ガ レ ー ー ー イ
さ ー ぶ う た の こ ー る の ー ー ー く
ム ー ル ヒ ト モ フ ー ネ モ ー ー ー ク

p

リ ヒ ニ ヤー マ ヤ ー マ ア カ ク ハ ー ユ ル ー
す し き ー か ら ー に た ま も ま ー よ ふ ー
ス シ キ マー ガ ウ ー タ ウ タ フ ロー レ ラ イ

ローレライ

近藤朝風

一 なじかは知らねど心わびて
昔のつたへはそぞろ身にしむ
寥しく暮れゆくラインの流
入日に山山あかくはゆる

二 美し少女の巖に立ちて
黄金の櫛とり髪のみだれを
梳きつつ口吟ぶ歌の聲の
奇しき力に魂もまよふ

三 こぎゆく舟びと歌に憧れ
岩根も見やらず仰げばやがて
浪間に沈むるひと舟も
奇しき魔が歌謠ふローレライ



ローレライ (Lorelei) はライン川の右岸、ドイツのヘッセン・ナッサウ州の聖ゴアルスハウゼンとカウプとの中間にある巨巖の名である。高さ百三十餘米、川を俯瞰して聳え、巖下は深潭を成してゐて昔からの有名な難航所である。今は鐵道が此の巨巖を貫いて走つてゐる。古來、船人が此の巖上に金髪を梳つてゐる水の精の美しい歌聲に魅せられて、我を忘れて遂には船諸共に水底に引き込まれるとの傳説が行はれてゐる。これは最初ブレンターノが詩に歌つて有名になり、次いでガイベルが詩にしたのをメンデルスゾーンが作曲し、更にハイネが詩に歌つたのをジルヒェルが作曲するに及んで愈有名になつたものである。

秋の山路

Allegro.

Maria Nathusiusの着想によって

mf

一 ア サ ツ ユ フ ミ テ ノ ボ ル ヤ マ チ
二 し か な く や ま に ゆ ふ ひ お ち て

ア キ カ ゼ ソ ヨ ト タ モ ト カ ロ シ
あ し も と ち か く く も ぞ せ ま る

mp

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

イ ザ イ ザ ト モ ヨ ワ レ ニ ツ ツ ケ
い ざ い ざ と も よ い へ ぢ い そ げ

秋の山路

堀澤鹿峽

一 朝露踏みて登る山路
秋風そよと袂輕し
ラララララララララ
ラララララララララ

二 鹿鳴く山に夕日落ちて
足もと近く雲ぞ迫る
ラララララララララ
ラララララララララ

いざいざ友よ家路急げ

花 賣

Andante.

Beethoven.
編者編曲

mp

一 ミ ツ ウ チ キ ヨー メ シ ア シ タ ノー チ マー タ
二 ゆ き か ひ に ぎ は ふ ゆ ふ ベ の 一 つ ぢ に

シ ラ ツ ユ サ ナー ガ ラ キ リ タ ル ハ ナ ラ
あ き の の さ なー が ら に ほ へ る は な や

mf

スー ス ム ル フ ト メ ノ ス ズー シ キー ヒ ト ミ
はー な う る を と め の は かー な きー た つ き

モー ノ ミ ナ エ マ フ ヨ ラ トー メ ニー ハ ナ ニ
おー も へ ば ひ と み な あ ゆー み を 一 と む る

花 賣

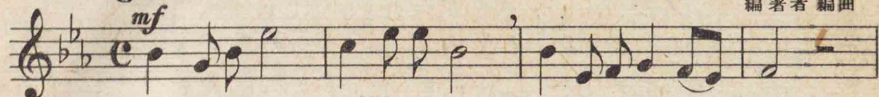
水町京子

一 水うちきよめし
朝の巷
白露さながら
剪りたる花を
すすむる少女の
すずしき眸
ものみなをまふよ
少女に花に
二 ゆきかひにぎはふ
夕の辻に
秋の野さながら
匂へる花や
花うる少女の
はかなきたつき
おもへば人皆
あゆみをとむる

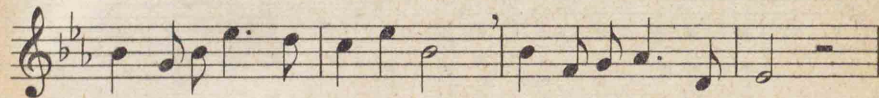
旅 愁

Allegretto.

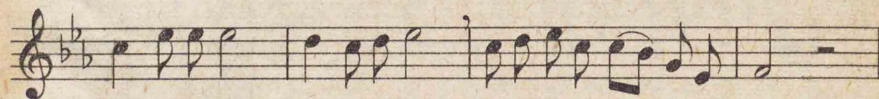
Ordway.
編者者 編曲



一. フケユク アキノヨ タビノソラーノ
二. まどうつ あらしに ゆめもやぶれ



ワビシキ オモヒニ ヒトリナ ヤム
はるけき かなたに こころまよふ



コヒシヤ フルサト ナツカシチーチハ ハ
こひしや ふるさと なつかしちーちは は



ユメニモ タドルハ サトノイ ヘチ
おもひに うかぶは もりのこずゑ

(Chorus)



フケユク アキノヨ タビノソラーノ
まどうつ あらしに ゆめもやぶれ



ワビシキ オモヒニ ヒトリナ ヤム
はるけき かなたに こころまよふ

旅 愁

犬童 球溪

一 更け行く秋の夜 旅の空の
侘しき想に ひとり惱む
戀しや故郷 なつかし父母
夢にも辿るは さとの家路
更け行く秋の夜 旅の空の
侘しき想に ひとり惱む
二 窓うつ嵐に 夢もやぶれ
はるけき彼方に 心迷ふ
戀しや故郷 懐かし父母
想に浮ぶは 森のこずゑ
窓うつ嵐に 夢もやぶれ
はるけき彼方に 心迷ふ

さらば我が家

水町 京子

一 ちちのみの父のみ聲 朝宵ききて
朗らかにすぎし幾年 思へば樂し
手なれしつくゑ 窓の若竹
幼はらから
別れゆかんと みればそぞろや
さらばよ 我が家
二 ははそぼの母の笑顔 明暮見つつ
安らかにありし春秋 思へば嬉し
目なれし柱 垣のつるばら
池のうろくづ
見ずやならんと 心もさびし
さらばよ 我が家
見ずやならんと 心もさびし
さらばよ 我が家

さらば我が家

Moderato.

ドイツ民謡曲



一.チチノミノチチノミコーエーアサヨヒキキー
二.ははそばのははのゑがーほーあけくれみつー



テホガラカニスギシイクトセーオモ
つやすらかにありしはるあきーおも



へバタノーシタナレシツクエマド
へばうれーしめなれしはしらかき



ノワカタケヲサナハラカーテワカ
のつるばらいけのうろくーづみず



レユカントミレバソヅロヤサラバヨワガーヤ
やならんとこころもさびしさらばよわがーや

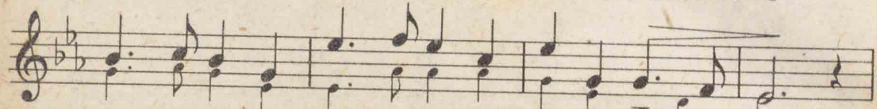
故郷の廢家

Moderato.

Hays.
編著者編曲



一.イクトセフルサトキテミレバ
二.むかしをかたるかそよぐかぜ



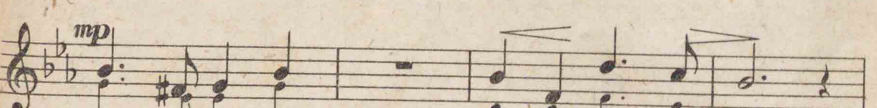
サクハナナクトリソヨグカゼ
むかしをうつすかすめるみづ



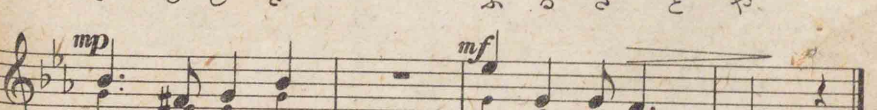
カドベノヲガハノササヤキモ
あさゆふかたみにてをとりにて



ナレニシムカシニカハラネド
あそびしともびといまいづこ



アレタルキワガイヘニヤ
さびしきふるさとや



スムヒトタエテナクヤ
さびしきわがいへや

湖畔の夕

Rossini
編著者編曲
decresc.

♩ = 80.



一 ヨヒツ キ ホノカ ニ ミノモ ワタルクレノ
二 やまか げ もだして うみの しんぴとはに



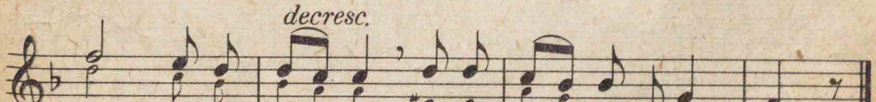
カ ー ネ サザ ナ ミ オト ナ ク キシノ
ひ ー む いさ り び また た き かよふ



ア シ ハ ソ ヨ ゲ リ サ ヤ サヤ
と り ど ま し ろ き ち よ ちよ



サ ー ヤ オ ト ー モ タ ヘ ー ニ ア
ち ー よ こ ゑ ー も た ヘ ー に あ



ア ヤ ス ケ ー キ コ ハ ン ー ノ ユ フ ベ
あ し づ け ー き こ は ん ー の ゆ ふ

故郷の廢家

犬童 球溪

一 幾年ふるさと来て見れば

咲く花鳴く鳥そよぐ風

門邊の小川のささやきも

なれにし昔に變らねど

荒れたる我が家に

住む人たえてなく

二 昔をかたるかそよぐ風

昔をうつすかすめる水

朝夕かたみに手とりて

あそびし友人いま何處

淋しきふるさとや

さびしき我が家や

湖畔の夕

友 近 季 一

一 宵月仄かに 水面渡る暮の鐘

漣音なく 岸のあしはそよげり

さやさやさや 音も妙に

ああ安けき 湖畔の夕

二 山影黙して 湖の神祕とはに秘む

漁火またたき 通ふ鳥ぞ眞白き

ちよちよちよ 聲も妙に

ああ静けき 湖畔の夕

秋の散歩

Moderato.

天谷 秀

mf

ハ コニ—ハ— ミ—チヌ マツムシ スズムシ
カ ゴニ—ハ— ア マレリ オチグリ ブダウ

mp

マツカゼ サ—ムシ シロノアート
ス—スキ ミ ダルル コ センチャウ—

pp *mf*

クモシロク ミヅアラシ モミ—チバニ サスヤユフヒラ

ソノママニ フミニツクラン エニ—カカン ソラ

タカク ココロモ キヨシ アハレ コノア

ff

キ—ビヨリ ヤマニノ—ニ ワガユクトコロ

ナベテイキタル マナビノニ ハ タノシヤユカン

キミモワレモ ウレシヤユカン ケフモアスモ

秋の散歩

棟方 悌二

箱には満ちぬ 松蟲鈴蟲
籠にはあまれり 落栗葡萄
松風寒し 城の址
薄みだるる 古戦場
雲白く水青し 紅葉ばに
さすや夕日を そのままに
文に作らん 晝にかかん
空高く 心も清し
あはれこの 秋日和
山に野に 我が行く所
なべて活きたる 學の庭
樂しや行かん 君も我も
樂しや行かん 今日明日も

うるはし天然

水町 京子

一 小鳥のこゑに 森はさめて
羊齒の葉ややに 明り始めつ
小百合野茨 風にさゆれ
梢こまかに ひかりそよぐ
うるはし うるはし 森のあさけ
うるはし うるはし 朝のひかり

二 山の秀かくす ゆゆし霧は
たちまち雨と ふりにふりて
はるすなはち 峽の空に
虹のかけ橋 かかり匂ふ
うるはし うるはし 山のゆふべ
うるはし うるはし 空のひかり

うるはし天然

Allegretto.

Graley.
編著者編曲

mf

一 コ ト リ ノ コ エ ニ モ リ ハ サ メ テ
二 や ま の ほ か く す ゆ ゆ し き り は

mp

シ ダ ノ ハ ヤ ヤ ニ ア カ リ ソ メ ツ
た ち ま ち あ め と ふ り に ふ り て

mf

サ ユ リ ノ イ バ ラ カ ゼ ニ サ ユ レ
は る る す な は ち か ひ の そ ら に

mp

コ ズ エ コ マ カ ニ ヒ カ リ ソ ヨ ゲ
に じ の か け は し か か り に ほ ふ

mf *mp* *mf*

ウ ル ハ シ ウ ル ハ シ モ リ ノ ア サ ケ
う る は し う る は し や ま の ゆ ふ べ

f *p* *f*

ウ ル ハ シ ウ ル ハ シ ア サ ノ ヒ カ リ
う る は し う る は し そ ら の ひ か り

母のおもひ

(小學唱歌集)

$\text{♩} = 92.$ *mf*

一 ハ ハ ノ オ モ ヒ ハ ソ ラ ニ ミ チ
二 は は の な さ け の な で し こ よ

ユークヘモシラズハテモナーシ
つゆなわすれそめぐみをば

p *mf*

ツキノカツラーヲタヲリテゾ
いへをうつすもそだてぐさ

f *mf*

イヘノカーゼヲバフカセツール
はたをきるさへをしへぐさ

p *mf* *f*

アフゲアフゲハハノミイサヲ
したへしたへははのなさを

春へのあこがれ

Andantino.

Mozart.



一 ヨ ノ ヒ ト ミ ナ ー ノ イ ト フ フ ユ ヨ
 二 ひ ば り も は ち ー も ね む る ふ ー ゆ よ
 三 コ ウ シ モ ヤ ギ ー モ ウ ナ ジ ノ ー ベ テ



イ ザ ト ク ユ キ ー テ ハ ル ヨ キ ー タ レ
 い ざ と く す ぎ ー て は る よ き ー た れ
 コ テ フ モ ハ ナ ー モ ナ レ ヲ マ ー テ リ



マ キ バ モ ー ノ ベ ー モ ア ラ ー ミ ワ ー タ リ
 の が は の ー み づ ー も ん る ー み わ ー た り
 ミ ド リ ノ ー イ ロ ー ニ ヨ モ ー ヲ カ ー ザ ル



ヒ ナ ギ ク ス ミ ー レ ニ ホ ー フ ハ ー ル ヨ
 こ う を ら む れ ー て を ど ー る は ー る よ
 ヤ サ シ ク ワ カ ー キ ハ ル ー ヨ キ ー タ レ

母のおもひ

(小學唱歌集)

一 母のおもひは空にみち
 行方も知らずはても無し
 つきの桂を手折りてぞ
 家の風をば吹かせつる
 あふげ あふげ
 母のみいさを

二 母のなさけの撫子よ
 露な忘れそ恵をば
 家をうつすもそだて草
 機をきるさへをしへ草
 したへ したへ
 母のなさけを

春へのあこがれ

牛山充

一 世の人みな のいとふ冬よ
 いざとくゆきて 春よ來れ
 牧場も野邊も あをみわたり
 ひなぎくすみれ 匂ふ春よ

二 雲雀も蜂も 眠る冬よ
 いざとくすぎて 春よ來れ
 野川の水も ぬるみわたり
 小魚ら群れて 躍る春よ

三 仔牛も山羊も うなじのべて
 胡蝶も花も なれを待てり
 みどりの色に 四方をかざる
 やさしくわかき 春よ來れ

歡 喜

Beethoven 作
交響曲「合唱」中より
編者 編曲

Allegro. *mp*

一、ホノボノ アケユク ウシホノ ヒカリ
二、やまぎり なづさは やしの おくか

チヒロノ ソコヒモ キョカイノ スメバ
こもれび またまと はらくしたに

mf

一、バシル ギンリン ヒカリヲ ハジキ
二、よげの すがたは かみにぞ かよふ

イノチノ アケボノ タターヘテ ヤスシイ
かみこそ ましませ そのかの はなにか

一、ノチノ ヨロコビ タターヘテ ヤスシ
二、みます ところに よろこび とはに

口繪寫眞參照

歡 喜

水町京子

一 ぼのぼのあけゆく 潮の光
千尋の底ひも 魚介のすめば
波間になびかふ 髪なす青藻
さばしる銀鱗 光をはじき
いのちのあけぼの たたへてやすし
いのちのよろこび たたへてやすし

二 山霧なづさふ 林の奥處
木洩れ日眞玉と はらく下に
ひそかに咲きいで 散り行く花や
清げのすがたは 神にぞかよふ
神こそまします 其の彼の花に
神ますところに よろこびとはに

空の光

水町京子

一 陽炎もゆる 野への春や
雲雀のうたは 天にひびき
目路には匂ふ 遠山眉
歌へわが友 よろこびを
若草藉けば おもひ遠く
山のあなたの 空にあそぶ
山 のあなたの 空こひし
二 もみぢ葉もゆる 山路の秋
千入の朱は わが頬を染め
せせらぐ川音 耳にさやか
ゆかんわが友 いざともに
木の實をとれば ころろ遙に
遠つ祖先の 國にあそぶ
遠つ祖先の 國こほし

空の光

Allegretto.

Södermann.
編著者 編曲

mp

一カゲラフモユールノベノハル
二もみぢばもゆーるやまぢのあ

ヤヒバリノウタハテ
きちしほのあけはわ

ンニヒビキメチニハニ
がほをそめせせらぐか

ホフトホヤママユウ
はとみみにさやか

タヘワガトモヨロコビラ
かんわがともいざとも

p

ワカクサシケバオ
このみをとればこ

モヒトホクヤマノアナタノソ
ころはろにとほつみおやのく

ラニアソブララララララララ
ににあそぶララララララララ

ララララララララララララララ
ララララララララララララ

マノアナタノソラコヒシ
ほつみおやのくにこほし

王の行進

Tempo di marcia.

フランス民謡曲
編著者 編曲

一、アサ ヒ テラスオホヂ ススム
ギヤウレツイト イカメシアサ ヒ ハユルミチ
ヲ ユクハ ワウノギヤウ レ ツ ウルハ
シヤトモビト メモア ヤニフクハビニ
ハエテ イサマ シヤトモビ
ト ツルギヌキツレススム

ニ、み は た いともかろく かぜに
ニ、み は た いともかろく か
はためくねも さやかにらく だ あゆみゆる
ぜにはためくねも さやかにらく だ あ
く かざり きららにゆるる な
ゆみゆるく かざり きららにゆるる
りわたるがくのね うららかに お

ほぢにながれて すすむ わうのぎや

うれつ みよやこころもをどる

一 朝日照らす大路
進む行列いと厳し
朝日映ゆる路を
行くは王の行列
麗しや供人
目もあやに服は日に映えて
勇ましや供人剣抜きつれ進む

二 御旗いとも軽く
風にはためく音もさやかに
駱駝歩み緩く
飾きららに揺るる
鳴り渡る樂の音
うららかに大路に流れて
進む王の行列見よや心も躍る

(輪 唱)
春の小川

Andante. 作曲者 不詳

一 サラ サラ サラ サラ ナ ガ ル
二 ちら ちら ちら ちら ち る よ
三 ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ マ フ ヨ

コウヲモヨロコブ ヲ ガ ハ サラサラ サラサラ
きしべにさきたる さくら ちら ちら ちら ちら
カスメルミソラノ コ ト リ ヒラヒラ ヒラヒラ

キ ケ ヤ タヘ ナル ナ ガ レ ノ シ ラ ベ
は な を う か べ て な が る る を が は
カ ゲ ヲ ナ ガ ル ル ミ ノ モ ニ ミ セ テ

春の小川 犬童 球 溪

一 さらさらさらさら流る
小魚も喜ぶ小川
さらさらさらさら聞けや
妙なる流の調

二 ちらちらちらちら散るよ
岸邊に咲きたる櫻
ちらちらちらちら花を
浮べて流るる小川

三 ひらひらひらひら舞ふよ
かすめるみ空の小鳥
ひらひらひらひら影を
流るる水面に見せて

王の行進

古 關 吉 雄

(輪 唱)
郭 公

Moderato.

スロヴァキヤ民謡曲

カッ コウ カッ コウ ミヤ マノ ト リ タツ トン タツ トン
 キ コリ ノ ヲ ノ ナ ク ネ ニ ア ハ セ テ ウ チ
 ウ ツ オ ト マ ネ テ ズ ナ ク カッ コウ カッ コウ
 タ ニ フ カ シ タツ トン タツ トン ヒ モ ス ガ ラ

郭 公
 カッ コウ カッ コウ 牛 山 充
 タツ トン タツ トン 深山の鳥
 タツ トン タツ トン 樵夫の斧
 啼く音にあはせて打ち
 打つおとまねてぞ啼く
 カッ コウ カッ コウ 谷深し
 タツ トン タツ トン 日もすがら

(輪 唱)
晨 の 鐘

Moderato.

作曲者 不詳

一. カ ネ ノ ネ ト ホ ナ リ ア サ ギ リ ハ レ
 二. か ね の ね た か な り み そ ら は は れ
 ナ ガ キ ヲ ア ケ ユ ク イ ト シ ツ カ ニ
 こ こ ろ は す み て の ゴ み に み つ
 ア ア ワ レ タ タ ン
 あ あ わ れ ゆ か ん

晨 の 鐘
 官田勝三郎
 一鐘の音遠鳴り
 朝霧晴れ
 長き夜明けゆく
 いと静かに
 ああ 我立たん
 二鐘の音高鳴り
 御空は晴れ
 心は澄みて
 望に充つ
 ああ 我行かん

皇 國

Methfessel.
編著者 編曲

Allegro.

mf

一 ヒ ガ シ ノ ウ ミ ー ノ ヒ イ ツ ル ト
二 じ ん ぎ の み ち ー の そ な は る と
三 へ イ ワ ノ タ ミ ー ノ ア ツ マ ル ト

f

コ ロ ワ レ ラ ガ ミ ク ー ニ クワ
こ ろ わ れ ら が み く ー に くわ
コ ロ ワ レ ラ ガ ミ ク ー ニ クワ

ウ ト ウ レ ー ン メ ン
う と う れ ー ン め ン
ウ ト ウ レ ー ン メ ン

皇 國

森 迫 武

一 東の海の

日出づるところ

我等が皇國

皇統連綿

二 仁義の道の

備はるところ

我等が皇國

皇統連綿

三 平和の民の

集まるところ

我等が皇國

皇統連綿

高 嶺

(小學唱歌集)

一 高嶺を越えて

日は出でにけり

わがなす業を

たすけんために

日は出でにけり

二月日のかけは

わが身のまもり

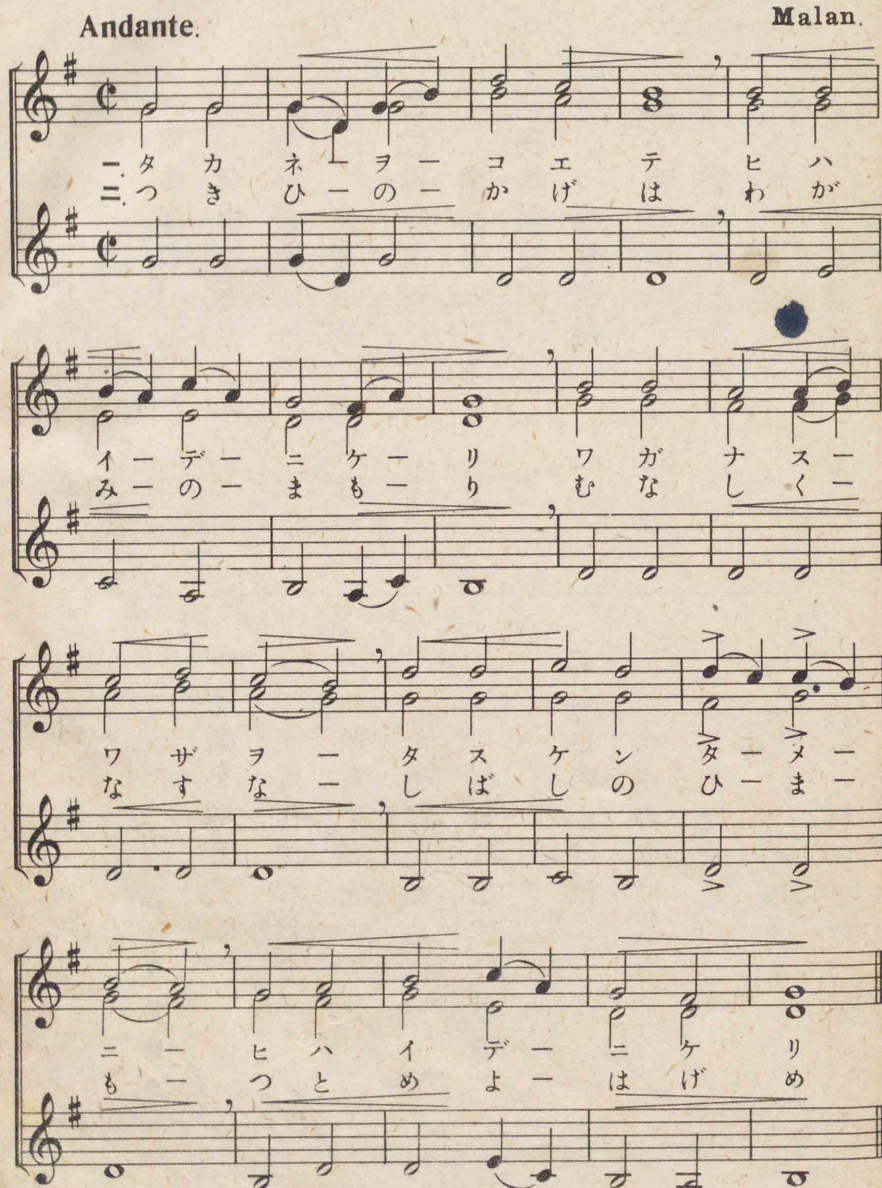
空しくなすな

しばしのひまも

努めよはげめ

高 嶺

Andante. Malan.



一タカネヲコエテヒハ
二つきひのかが
イデニケリワガナス
みのまもりむなし
ワザヲタスケンタメ
なすなしはしのひま
ニヒハイデニケリ
もつとめよはげめ

樂 典

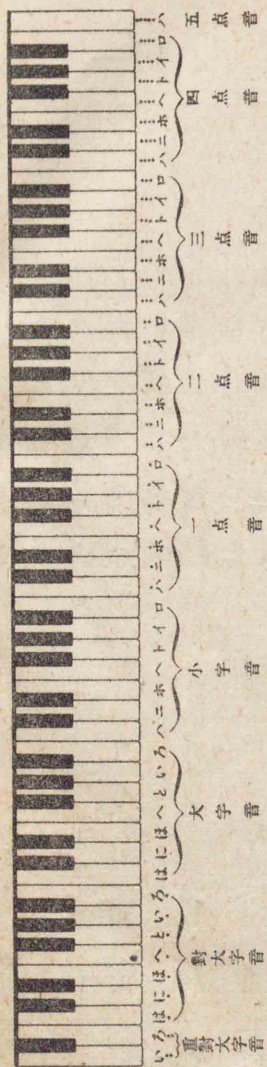
1. 音 名

音樂に使用される音の數は非常に多いが、之を仔細に檢するときには、之等の中、全く其の性質を異にするものは僅に七個であつて、之を基本音又は基礎七音と稱し、これらの各音に附された名稱を音名と稱する。

次に我國に於て使用される音名と歐米諸國のそれとを比較對照して示す。

國別	音 名						
日	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ
英・米	C	D	E	F	G	A	B
獨	C	D	E	F	G	A	H
佛	Ut	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si
伊	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si

尙之等の七個の音名は其の字體を變へ又更に之に記號を附記する等の方法によつて殆ど音樂上の全使用音に對して使用される。



次に反復重用された基本音の音列について、之を左のピアノ鍵盤圖と對照して説明する。

1. 大字又は記號によつて示されてゐる同名の音は、其の振動數が互に倍數の關係によつて反復重用されてゐるものであつて、全く同一性質のものである。
2. 同名の二音によつて挿まれてゐる區間は之をオクターヴ (octave) と稱する。octaveなる語は、又或音より其の上方又は下方の第八番目の同名の音を指示するためにも用ひられる。
3. 音列中の諸音は、例へばろは重對大字ロ、イは小字イ、ホは二點のホ等の如くに呼ばれる。但し、それらの譜表上の位置を明示する必要の無い場合には、例へば單にロ、イ、ホ等の如くに呼ばれる。
4. 上記の鍵盤圖中、之等七種の基本音名の配されてゐる部分はすべて白鍵

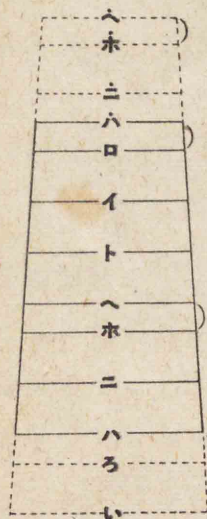
なるが故に、基本音は俗に白鍵音とも呼ばれてゐる。

尙各音の高さは一點イの振動數(435 複振動)を基準として國際的に一定されてゐる。

2. 全音程と半音程

相連る二個の基本音の隔度には大小の區別がある。

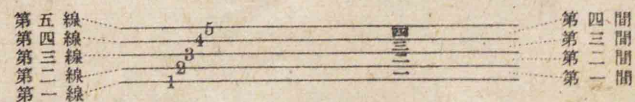
然して其の大なるものは全音程(又は全音)、小なるものは之を半音程(又は半音)と稱し、全音程は半音程二個に相當するものである。基本音列中、ホーへ及びロ一ハは半音程、其の他の隣接二音間はすべて全音程である。



3. 譜表

譜表は音の高低を表示するために用ひられるものであつて、五個の等長等間隔の並行直線によつて組立てられてゐる。

相隣れる二線によつて挿まれた部分は之を間と稱し、線と間とは夫々下方より順次上方に向つて下圖の如くに名稱が附されて居る。



音を表示するには線と間とが併用され、其の位置の高低によつて音の高低が表示される。

第五線の上よりも更に高い音又は第一線の下よりも更に低い音を記載するには、直線の短いものが五線と等間隔並行に書き添へられる。之を**加線**と稱し、加線が五線よりも上方のものには下方より、下方のものには上方より夫々下圖の如くに其の順序を示した名稱が附される。



4. 音部記號

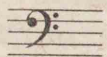
譜表の或線上に置き、其の線上に記載された音の名稱及び高度を決定する記號は之を**音部記號**と稱し、譜表の始に記載される。

音部記號中その重なるものは**ト音記號**(又は高音部記號)及び**ヘ音記號**(又は低音部記號)の二種である。

ト音記號



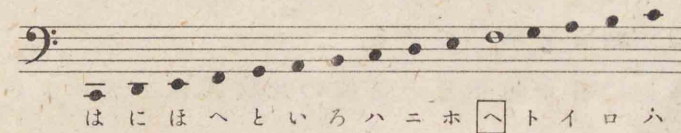
ヘ音記號



高音部譜表 ト音記號を譜表の第二線上に附記したものは之を**高音部譜表**と稱する。本譜表に於ては第二線をト音とし、他のすべての音の名稱は之を基準として決定されること下圖の如くである。



低音部譜表 ヘ音記號を譜表の第四線上に附記したものは之を**低音部譜表**と稱する。本譜表に於ては第四線をヘ音とし、他のすべての音の名稱は之を基準として決定されること下圖の如くである。



大譜表 高音部譜表と低音部譜表とを縦線と括弧とによつて連結したものは之を**大譜表**と稱し、兩譜表は中央ハの一加線によつて互に連接させられてゐる。



5. 音符

音を表示する記號は之を**音符**と稱する。音符は其

の形状によつて其の價値を示すとともに、また譜表上の符頭の位置によつて音の高低をも示すものである。

重なる音符の種類、形状及び價値を表示すれば次の如くである。

名稱	全音符	二分音符	四分音符	八分音符	十六分音符
形状	○	♪	♪	♪	♪
價値	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$

音符の名稱は全音符の價値を一として各音符の之に對する價値の割合を示してゐる。

尙詳細に各音符相互の價値の比較關係を表示すれば次の如くである。



附點音符 符頭の右側に一點又は二點を附した場合には、其の音符は次の如くに其の價値を増すものである。

附點音符	複附點音符
價値	價値
○. = ○ + ♪	○.. = ○ + ♪ + ♪
♪. = ♪ + ♪	♪.. = ♪ + ♪ + ♪
♪. = ♪ + ♪	♪.. = ♪ + ♪ + ♪
♪. = ♪ + ♪	♪.. = ♪ + ♪ + ♪

6. 休止符

音の黙止を表示する記號は之を**休止符**又は**黙符**と稱し、其の價値はすべて音符のそれと同一である。

次に重なる休止符の種類、形状及び價値を音符のそれと比較對照して示す。

休止符	名稱	全休止符	二分休止符	四分休止符	八分休止符	十六分休止符
	形状	—	—	♪又は♪	♪	♪
	價値	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$
音符	名稱	全音符	二分音符	四分音符	八分音符	十六分音符
	形状	○	♪	♪	♪	♪
	價値	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$

附點休止符 休止符の右側に一點又は二點を附した場合には、音符の場合と同様に其の價値を増すものである。

7. 拍子

楽曲の進行に於ては常に音勢 (accent) を有する音と然らざるものとが規則正しく一定の時間内に現れるものであつて之を拍子と稱し、音勢を有する音を強部、然らざるものは之を弱部と稱する。

拍子には二拍子と三拍子との二種がある。

一強部と一弱部とよりなるものは二拍子、一強部と二弱部とよりなるものは之を三拍子と稱し、尙此の二つを拍子の原型とも、また單純拍子とも稱する。

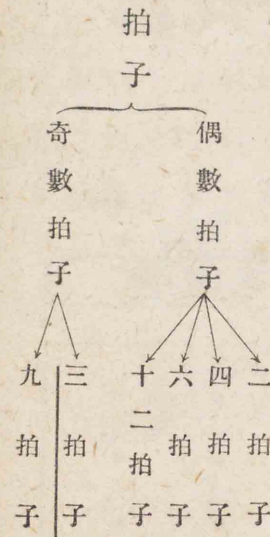


他の拍子はすべて此の二種の拍子の反復又は組合せによつて生ずるものであつて之を複合拍子と稱し、強部の音勢の量の上に差異あることによつて單純拍子と區別される。



尙二拍子並に、二拍子二個の複合によつた四拍子、三拍子二個又は四個の複合によつた六拍子又は十二拍子は偶數拍子

三拍子並に、三拍子三個の複合によつた九拍子は又奇數拍子とも稱される。



縦線 楽曲の最強部毎に之を明示するために設けられた譜表上の區劃線は之を單縦線又は單に縦線と稱し、縦線の右側は常に最強部である。

但し最初の最強部の前には、之に對する縦線は省略されるものである。

複縦線 音勢とは無關係に楽曲中の主要な段落を明示するために二つの直線によつて設けられた譜表上の區劃線は之を複縦線と稱し、楽曲の終末を示す

ために用ひられるものにあつては、通常右方の線が左方のものよりも太く記される。



小節 相隣れる二個の縦線によつて挿まれた譜表上の一區劃は之を小節と稱する。

拍子記號 拍子の種類を表示する記號は之を拍子記號と稱し、常に樂曲の起首、調子記號の直次に記載され、一拍に數へる音符の名を示す數字を分母、一小節内に有する拍數を示す數字を分子とした分數形のものゝ以て其の記號とする。但し四分の四拍子の場合に於ては C 、二分の二拍子の場合に於ては C を以て其の拍子記號とするのを常例とする。次に之を表示する。

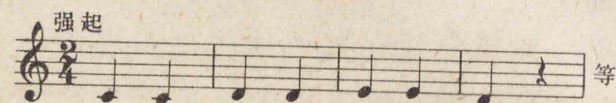
拍子及び拍子記號の表	
單純拍子	複合拍子
C 又は $\frac{2}{2}$ 	$\frac{4}{2}$ 
$\frac{2}{4}$ 	C 又は $\frac{4}{4}$ 
$\frac{2}{8}$ 	$\frac{4}{8}$ 
$\frac{3}{2}$ 	$\frac{6}{2}$ 
$\frac{3}{4}$ 	$\frac{6}{4}$ 
$\frac{3}{8}$ 	$\frac{6}{8}$ 

音符の上方の垂點は音勢の所在を示す。


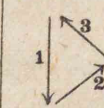
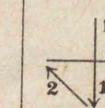

未完小節 樂曲の始には屢最終小節の拍數と合せてはじめて完全な拍數をなす小節の存在することがある。斯様な拍數不足の小節は之を**未完小節**と稱する。



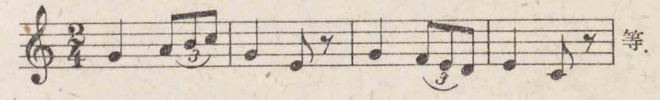
尙樂曲は常に強部からのみ始まるものではなく、又弱部から始まる場合も多數にある。然して樂曲の強部から始まるものは**強起**、弱部から始まるものは之を**弱起**と稱する。(歌曲「遠足」「五月晴」等参照)



拍法 樂曲の拍子を數へる方法は之を拍法と稱する。拍法中、口にて一二、一二……又は一二三、一二三……等の如くに其の拍子を唱へつゝ數へるものは**呼節法**、又指揮棒(bâton)によつて次圖のごとくに行ふものは之を**拍節法**(又は**指揮法**)と稱する。

二拍子	三拍子	四拍子	六拍子
			

三連音符 三個の音符を弧線によつて連結し、之に3の數字を配したものは之を**三連音符**と稱し、例へば八分音符三個を八分音符二個と同一歴時に奏唱させるものである。



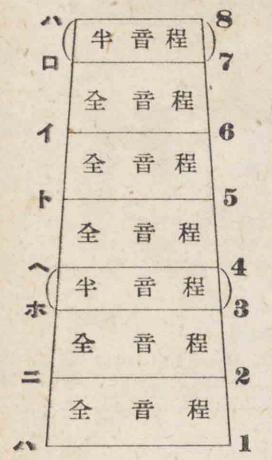
切分音 弱部の音を其の儘次の強部の同音に連結したものは之を**切分音**と稱し、その音勢は弱部に移る。次に其の一例を示す。



音符の上方の垂點は音勢の所在を示す。

8. 音階 (其の一)

或一つの音を基礎として、之より或種の音樂的關係によつて規定された數個の音を其の高低の順序によつて排列したものは之を**音階**と稱し、音樂の種類によ



つて之に相應した各種の音階が存在する。然して各種の音階の中、最も多く使用されるものは長音階と呼ばれるところのものである。

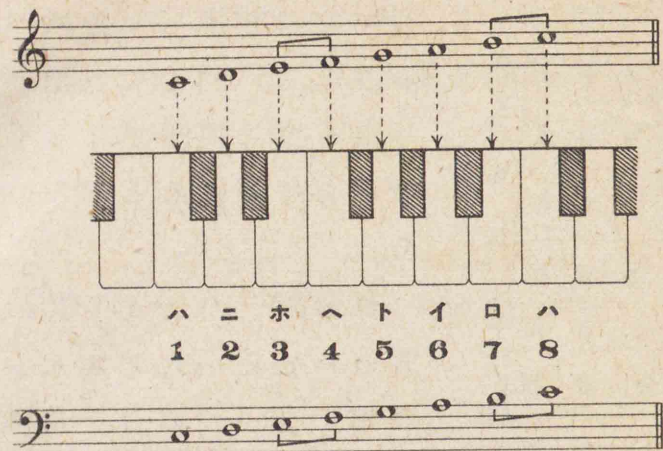
長音階 ハ音より其の八音上方のハ音にいたる基本音の音列の如く、或一つの音を基礎として、之より上方に**全音、全音、半音、全音、全音、全音、半音**の順序に八個の音を

を排列したものは之を**長音階**と稱する。

階名 音階の各音は**階名**と稱する特別の呼稱によつて歌はれる場合がある。次に長音階の階名として普通に使用されるものを掲げる。

第一度	第二度	第三度	第四度	第五度	第六度	第七度	第八度
Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si	Do

ハ調長音階の構成 ハ音を基礎として構成した長音階は之を**ハ調長音階**と稱する。其の音列は基本音のみによつて構成されてゐる。



9. 音程 (其の一)

音程 二音の隔度は之を音程と稱する。

音程の數へ方 音程は譜表上の二音符が互に包容する線と間との數を以て其の度數とし、之に度なる語を附して其の呼稱とする。音程を數へるには、通常下方より上方に向つて行ふ。



10. 變化記號

或音を半音程高くし或は低くする爲に使用する記號は之を變化記號と稱し、次の種類がある。

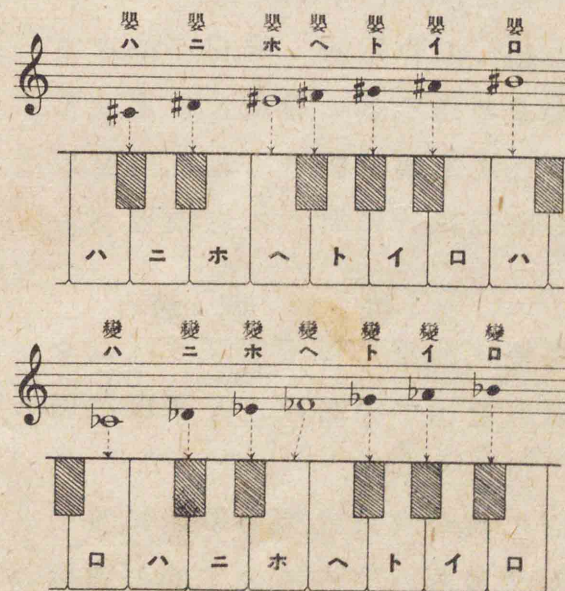
嬰又は嬰記號 (sharp) 基本音を半音程高くする爲に、其の音符の左側に附記する。

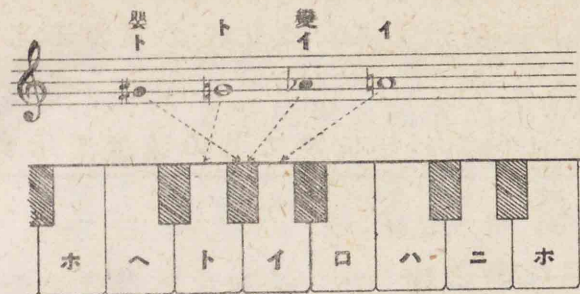
基本音にして此の記號を附記されたものは、例へば嬰へ、嬰ハ等の如くに稱へられる。

b 變又は變記號 (flat) 基本音を半音程低くする爲に、其の音符の左側に附記する。

基本音にして此の記號を附記されたものは、例へば變ロ、變ホ等の如くに稱へられる。

尚嬰又は變の附記された音(變化音)を再び其の本來の音(基本音)に復するには、其の音符の左側に記號 \natural を附記する。此の記號は之を本位記號(natural)と稱する。





尙變化記號には臨時記號としての用法と調子記號としての用法とがある。

調子記號としての用法 音階の構成上必要な變化記號を一括して音部記號の直次に記載したものは之を調子記號と稱し、此の場合、或一音の爲に附記された變化記號は其の樂曲の同名音全部に對して有效である。(「ト調長音階の構成」等参照)

臨時記號としての用法 變化記號はまた必要に應じて之を樂曲の途中、其の隨所に使用することが出来る。此の場合、之を臨時記號と稱し、之を取消さない限り、同一小節内の同音に對して有效である。

11. 速度標語

樂曲の速度を示す標語は之を速度標語と稱し、通常伊太利語が使用される。

速度標語には樂曲或は樂節の始に於て其の速度を示すものと、又樂曲の途中に於て其の速度の變化を示すものと二種がある。次にその重なるものを掲げる。

樂曲或は樂節の始に於て其の速度を示すもの

標語	訓み方	意義
lento	レント	最も緩く
largo	ラルゴ	幅廣く且緩く
larghetto	ラルゲット	largo よりも稍早く
adagio	アダージョ	徐かに
andante	アンダンテ	稍緩く (歩むが如く)
andantino	アンダンティノ	andante よりも稍早く (allegretto に近き速度)
moderato	モデラート	中庸速度に
allegro	アレグロ	急速且活潑に
allegro moderato	アレグロモデラート	適度に早く (略 allegro に同じく)
allegretto	アレグレット	allegro よりも稍遅く
presto	プレスト	allegro よりも更に速く
prestissimo	プレスティッシモ	presto よりも更に速く
tempo di marcia	テンポディマルチャ	行進曲の速度にて (andante 位の速度)

樂曲の途中に於て速度の變化を示すもの

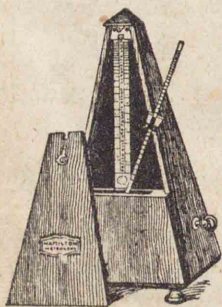
標語	略號	訓み方	意義
ritardando	rit. 又は ritard.	リタルダンド	漸次速度を弛めて
rallentando	rall. 又は rallent.	ラルレンタンド	同上
a tempo		アテンポ	本來の速度にて

他の標語の意味を限定するために用ひられる標語

標語	訓	み	方	意	義
poco	ポ		コ	少	し
meno	メ		ノ	よ	り 少 く
più	ピ		ウ	よ	り 多 く
molto	モ	ル	ト	極	め て

拍節機による速度標示

楽曲の速度は又拍節機 (metronome) と稱する機械の使用によつても定められる。



例へば楽曲の始に ♩=126 或は M. M. (Mälzel の metronome の略) ♩=126 等の如くに標識されてある場合には、其の楽曲は、其の楽曲の四分音符一個の速さ一分間の $\frac{1}{126}$ の割合の速度によつて奏唱される。即ち拍節機の振子に装着された錘の上邊を數字盤中の所望の數字の處に置いて其の楽曲の速度の基準とする。

12. 發想標語並に發想記號

楽曲は常に其の奏法の緩急強弱等によつて特種の興趣を表出するものであつて、之等の技術的方法に關

係した諸標語並に諸記號は之を發想標語並に發想記號と稱し、主として伊太利語が使用される。次に其の重なるものを掲げる。

標語	略號又は記號	訓	み	方	意	義			
piano	p	ピ	ア	ノ	弱	く			
pianissimo	pp	ピ	ア	ニッ	スィ	モ 極めて弱く			
mezzo piano	mp	メ	ヅ	ピ	ア	ノ 稍 弱く			
forte	f	フ	ォ	ル	テ	強 ぐ			
fortissimo	ff	フ	ォ	ル	テ	ィ	スィ	モ 極めて強く	
mezzo forte	mf	メ	ヅ	フ	ォ	ル	テ 稍 強 ぐ		
crescendo	cresc.	ク	レ	シ	ェ	ン	ド 漸次強く		
		同		上	同	上			
decrescendo	decresc.	デ	ク	レ	シ	ェ	ン	ド 漸次弱く	
		同		上	同	上			
diminuendo	dim.	デ	ィ	ミ	ヌ	エ	ン	ド 漸次弱く	
smorzando	smorz.	ズ	モ	ル	ツ	ァ	ン	ド 漸次弱く且遅く	
sforzando	sf 又は fz	ス	フ	ォ	ル	ツ	ァ	ン	ド 特に強く
	> 又は ^	同		上	同	上			
fortepiano	fp	フ	ォ	ル	テ	ピ	ア	ノ 強く直に弱く	
maestoso		マ	エ	ス	ト	ー	ソ 莊嚴に		
mosso		モ	ッ		ソ	活潑に (早く)			

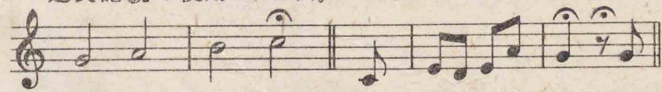
13. 雑記號

⊙ 延長記號(pause) 音符又は休止符の上方或は下方に附記して、其の長さを適當に延長させる。

— 連合線(tie) 二個の同音の音符に附記して、之を恰も一音符のごとくに奏唱させる。

— 連結線(slur) 高さを異にした二個又はそれ以上の音符に附記して、之を特に圓滑に奏唱させる。

延長記號の使用された例。



連合線の使用された例。

連結線の使用された例。

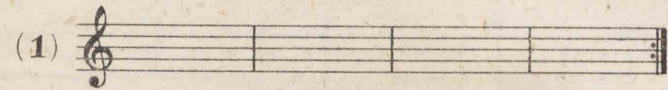


● 圓點及び垂點 音符の上方又は下方に附記して、之を其の固有の長さよりも特に短く奏唱させる。

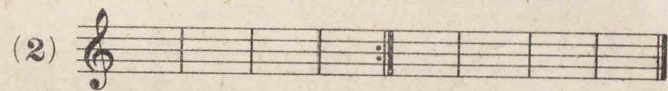
	(a) 圓點	(b) 垂點	(c) 圓點と連結線
記法			
奏法			
	スタッカート (staccato)	スタッカチッシモ (staccatissimo)	メッツァ スタッカート (mezzo staccato)

14. 反復記號

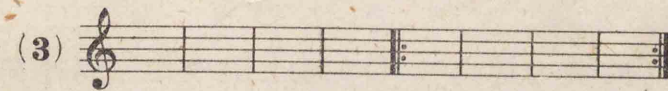
樂曲中の或同一部分を反復させるために使用する諸記號は之を反復記號と稱する。次に各種の反復記號の使用された場合を例示する。



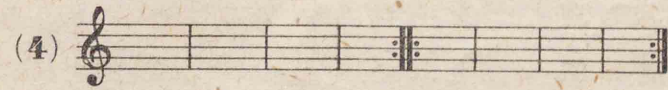
全部を反復させる。



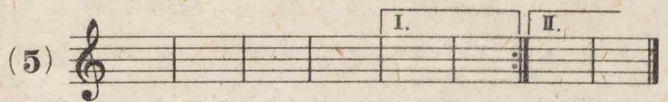
前半部のみを反復させる。



後半部のみを反復させる。



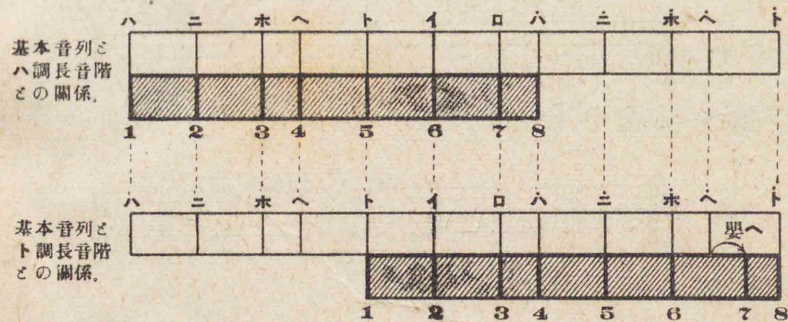
前半部を反復し、更に後半部をも反復させる。



反復に際し、二回目には「I.」の部分を用ひることなく直に「II.」の部分に進行させる。

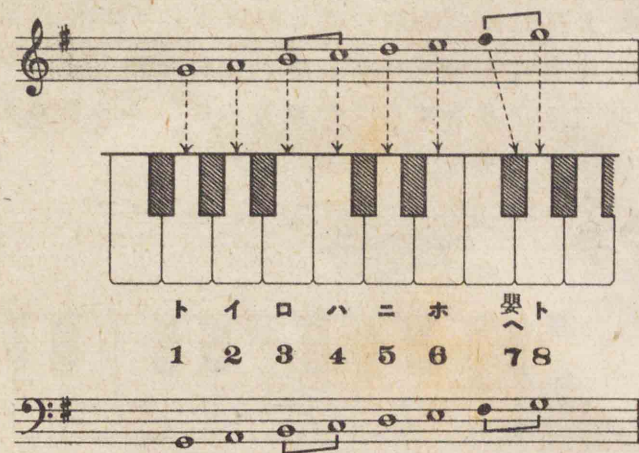
15. 音階 (其の二)

ト調長音階の構成 ト音を基礎として構成した長音階は之をト調長音階と稱する。

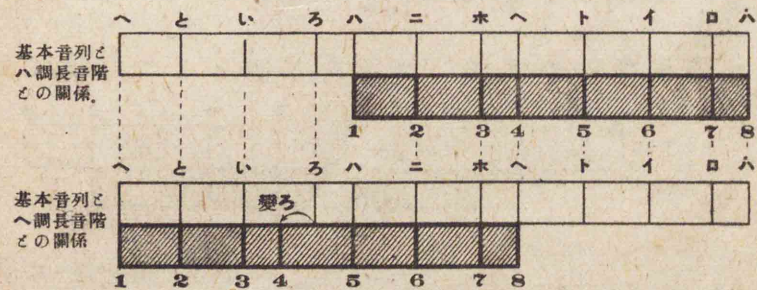


ト調長音階の構成に於ては、上圖の如く基本音列の音程排列はヘ音の位置に於て長音階のそれと一致してゐない。故に之を一致させるには、ヘ音よりも更に半音程高い嬰ヘ音を以てヘ音に代らせなければならない。

即ち、ト調長音階並に同音階に據つた楽曲を譜表上に記載するには、音部記號の直次に、高音部譜表にあつては第五線上に、低音部譜表にあつては第四線上に嬰を附して之を調子記號とし、以てこの場合、すべてのヘ音に換へるに嬰ヘ音の使用されることを明示する。



ヘ調長音階の構成 ヘ音を基礎として構成した長音階は之をヘ調長音階と稱する。



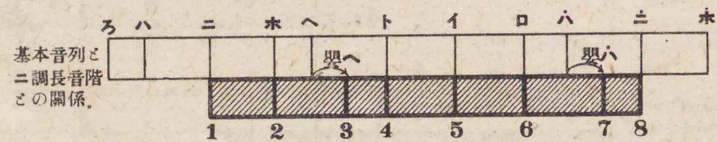
ヘ調長音階の構成に於ては、上圖の如く基本音列の音程排列はロ音の位置に於て長音階のそれと一致してゐない。故に之を一致させるには、ロ音よりも更に半音程低い變ロ音を以てロ音に代らせなければならない。

即ち、ヘ調長音階並に同音階に據つた楽曲を譜表上に記載

するには、音部記號の直次に、高音部譜表にあつては第三線上に、低音部譜表にあつては第二線上に變を附して之を調子記號とし、以てこの場合、すべての□音に換へるに變□音の使用されることを明示する。

へ ト イ 變 ハ ニ ホ へ
1 2 3 4 5 6 7 8

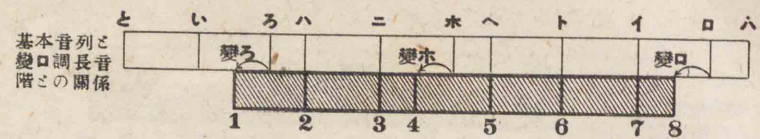
ニ調長音階の構成 ニ音を基礎として構成した長



ニ ホ 嬰ト イ ロ 嬰ハ
1 2 3 4 5 6 7 8

音階は之をニ調長音階と稱し、其の構成に於ては圖の如く、へ音及びハ音の代りに嬰へ音及び嬰ハ音が使用される。

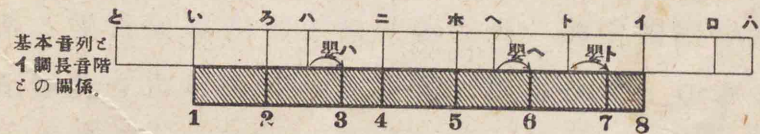
變口調長音階の構成 變口音を基礎として構成し



變ろ ハ ニ 變ホ へ ト イ 變ロ
1 2 3 4 5 6 7 8

た長音階は之を變口調長音階と稱し、其の構成に於ては圖の如く、其の第一度を變口音とし、更にホ音の代りに變ホ音が使用される。

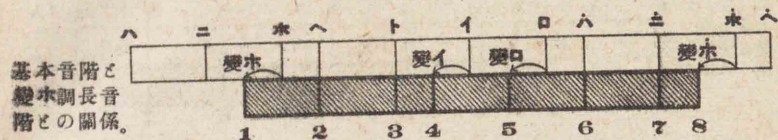
イ調長音階の構成 イ音を基礎として構成した長



嬰ハ 嬰へ 嬰ト
1 2 3 4 5 6 7 8

音階は之をイ調長音階と稱し、其の構成に於ては圖の如く、へ音、ハ音及びト音の代りに夫々嬰へ音、嬰ハ音及び嬰ト音が使用される。

變ホ調長音階の構成 變ホ音を基礎として構成した長音階は之を變ホ調長音階と稱し、其の構成に於て



は圖の如く、其の第一度を變ホ音とし、更にロ音及びイ音の代りに夫々變ロ音及び變イ音が使用される。

16. 音程 (其の二)

全音階的音程 長音階又は短音階等全音階と稱されるもの、中に自然に存在する音程は之を全音階的音程と稱し、之を其の度数によつて區分するときには十四種、之には更に其の音程の性質によつて完全、長、短、増減等の名稱の附されること次の如くである。

附 録

[鑑賞参考曲]

春を讃へん

Andante grazioso.

Mozart 作
ソナタ「イ長調」の主題によって

一. ウー マシ ノ ウー タ モ テ タ タ ヘ ン ハ ル ヲ
二. うー ヘ ナ キ シー ラ ベ ニ タ タ ヘ ン は る を

アー マ ツ ヒ ウー ラ ラ ニ テ ラ セ ル ハ ル ヲ
あー め つ ち ふー た た び さ か ゆ る は る を

サー チ ア ル イー ノ チー ハ ノー ヤ マー ニ アー フ レー キー ギ ニ モ
かー が や く いー の ちー は あー た りー に みー ちてー もー り に も

クー サ ニ モ ハ ナ ズ ニ ホ ヘ ルー ハ ナ ズ ニー ホ ヘ ル
のー ベ に も と り ぞ う た へ る と り ぞ う た へ る

春を讃へん

一 うましの歌もて讃へん春を
あまつ日うららに 照らせる春を

幸ある命は野山に溢れ
樹樹にも草にも花ぞ匂へる
花ぞ匂へる

二 上なき調に讃へん春を
天地ふたたび榮ゆる春を
輝く命はあたりに充ちて
森にも野邊にも鳥ぞ歌へる
鳥ぞ歌へる

[鑑賞参考曲]

五月の朝

Tempo di minuetto.

Beethoven 作
ソナタ「ト長調」中の主題によって
編著者 編曲

一. ヨリ ノ カ ノ ベ ニ ハ ナ ビー ラ ヒ ロ ゲ テ
二. あ を な か あ かり か つ ば さー キ コ ト リ カ
は な か と かり か つ ば さー を ひ ろ げ て
ぬ は な か

ソ ラ ニ ム カ ヒ ト バ シ ー ト ス ル ハ
ハ ル ノ ノ ベ ニ ニ ホ ー ル ハ ナ ハ
う た り の ま え に こ さ へ ー の と り は
は る ひ ま だ に さ へ づ ー と り は

コ エ ナ キ コ ト リ カ マ コ ト ノ ニ サ ク ハ ナ カ
か を ら ぬ は な か も ま こ と き に す む と り か

五月の朝

一 四方の野邊に 花びら擴げて
空に向かひ 飛ばんとするは
聲なき小鳥か
まこと 野に咲く花か
鳥か花か 聲なき小鳥か
春の野邊に 匂へる花は

二 青き赤き 翼を擴げて
歌ひ舞へる 梢の鳥は
かをらぬ花かも
まこと 樹に棲む鳥か
花か鳥か かをらぬ花かも
春の枝に 囀る鳥は

[鑑賞参考曲]

湖畔の暁

Andante.

(2nd time *pp*)

Haydn 作
交響曲「驚愕」中の主題によって
編著者編曲

ジェネヴァノ ミノモル シツカニ アケル
マキバラ マモル シワラベヤ フケル

ウツレル ヤマノ カゲキヨナ シリ
フエノネ トホク ヒビク ナ

ミルマニ ヤマノ ハー ムラサキル ダチテ
クモキノ カナターニ ソビユル ミネノ

ハレタル ソラニ アサヒーハー ノポリ
シラユキ バラノ イロニゾー ニホフ

白雪薔薇の 色にぞ匂ふ
雲居のかなたに 聳ゆる峯の
晴れたる空に 旭はのぼり
見る間に山の端 紫だちて
笛の音とほく ひびくなり
牧場をまもる 童や吹ける
うつれる山の 影きよし
ジェネヴァの水面 静かにあけて

牛 山 充

口繪寫眞参照

[鑑賞参考曲]

榮光

Andante con moto.

Bach.
編著者編曲

一、ホ、ガラニサヘヅルコトリーノウタニモヘ
二、ひろのーにさけべるけものーのこゑにもい

ダテナキカミーノメグミコモルキ
やたーかまかみのちからひびくた

ヨラーニハエタルコノハーノイロニモカ
かねーのいはまにほほゑむはなにもか

シコーシヤカミーノイ サヲミテリ フ
しこーしやかみーのいぶきかかるわ

クカーゼフルアメアメーツーチモノミナア
たるーひてるつきあめーつーちものみなあ

アヤーシククシ一件カーミノミワザ
あやーしくくしーきかーみのみわざ

口繪寫眞参照

[鑑賞参考曲]

アロハオエ

Queen Lihuokalani.
編著者編曲

Andantino.

mp



一 ヤ シ ノ ハ ウ ラ ソ ヨ ギ テ ア
二 い こ ひ あ そ び む つ み し う



メ ハ ヤ ク ス ギ ユ ケ バ ワ カ レ ノ コ コ ロ ユ
み よ を か べ よ と も よ わ き い づ る お も ひ

poco rit.



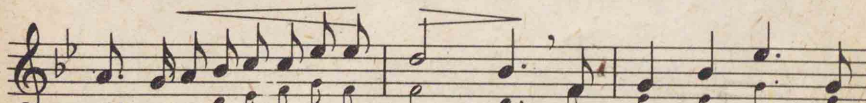
ス ル カ ゼ ノ サ サ ヤ キ ワ リ ナ キ
で に む ね も あ つ く な つ か し き

(Chorus) *a tempo*

mf (2nd time *pp*)



(一、二) ア ロ ハ オ エ ア ロ ハ オ エ イ ツ



コ ニ ア リ ト モ ワ ス レ ジ マ タ モ ア ヒ

rit.



ミ ル ヒ マ デ サ キ ク イ マ セ

榮光

森 迫 武

アロハオエ

古 關 吉 雄

一 ぼがらに轉る 小鳥の歌にも

へだてなき 神の恵こもる

清らに映えたる 木の葉の色にも

かしこしや 神の功満てり

吹く風降る雨 天地のみな

あ あやししく奇しき神のみ業

二 廣野にさける 獸の聲にも

いや高き神の ちからひびく

高嶺の岩間に ほほゑむ花にも

かしこしや神の 息吹かかる

渡る日照る月 天地のみな

あ あやししく奇しき神のみ業

一 椰子の葉裏そよぎて

雨速く過ぎゆけば

別れの心揺する

風の囁わりなき

アロハオエ アロハオエ

何處にありとも忘れじ

またも相見る日まで

幸くいませ

二 憩ひ遊び睦みし

海上岡邊よ友よ

湧き出づる思ひ出に

胸も熱く懐しき

[鑑賞参考曲]

ドナウの漣

Ivanovici 作
同名のワルツによつて
編著者 編曲

Tempo di valse.

p

キ シ ニ タ テ ル キ
ミ ツ ニ ヤ ド ル ツ

キ ノ サ マ ミ ノ モ ハ
キ ノ カ ゲ ソ ラ ニ ウ

シ ル フ ネ ノ カ ゲ
カ ブ ク モ ノ イ ロ

p

メ デ ノ カ キ リ ト ホ ク ウ ネ リ
メ デ ノ カ キ リ ウ ミ ト マ ガ フ

ウ ネ リ テ キ ヨ ク ア ラ キ
ミ ノ モ ニ キ シ パ ギ シ パ

ナ ミ タ テ ト ハ ニ ヤ マ ズ
ヲ ド ラ セ キ ヨ キ シ ラ ベ

ナ ガ ル ル オ ホ キ ド ナ
カ ナ ツ ル ア ラ キ ド ナ

I. II. *mf*
ウ ウ カ カ ス メ ル
ツ

ハ ル ノ カ ハ ベ ミ ツ ト リ
ヨ ハ ノ ミ ノ モ マ チ ノ ヒ

ユ キ ト マ ガ ヒ ク レ ユ ク
ユ メ ヲ ウ カ ベ ア ケ ユ ク

ア キ ノ ミ ツ ニ カ ハ ギ リ
ア サ ノ キ シ ニ サ サ ナ ミ

I. II.
ヒ ク ク ナ ビ ク シ
シ ラ ベ キ ヲ

ドナウの漣

牛 山 充

岸に立てる樹樹の様 水面走る舟の影
 目路のかぎり 遠くうねりうねりて
 清く碧き波立て
 とはにやまず 流るる大きドナウ
 水に宿る月の影 空に浮ぶ雲の色
 目路のかぎり 海とまがふ水面に
 金波銀波躍らせ 碧きドナウ
 清き調かなづる 水鳥雪とまがひ
 かすめる春の河邊 川霧低くなびく
 暮れゆく秋の水に 街の灯夢を浮べ
 風立つ夜半の水面 漣しらべきよし
 明けゆく朝の岸に



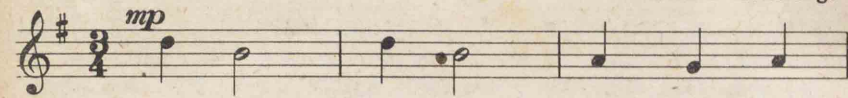
ドナウ河 (Donau) 中部ヨーロッパの動脈たる大河。北アルプスの山中に發して北流しバヴァリア高原の水を集めて東流するイーゼル河は、東アルプスの溪谷から發するイン河と合してドナウ河となり、ウィーン附近に於て奥匈の平野を流れ、鐵門の險を過ぎてルーマニアの平原に出で、ドブルディアの山地を北に巡り、更に東流して黒海に注ぐ。長さ約七百里、流域面積約五萬三千方里。ウィーン、ブダペスト、ベルグラード、ルスチュク、ガラツ等の繁華な河港を有し、河口よりバヴァリア高原上のウルム迄は船運の便がある。歐洲最大の可航範圍を有する國際河川であつて、列國に解放されてゐる。

The cuckoo.

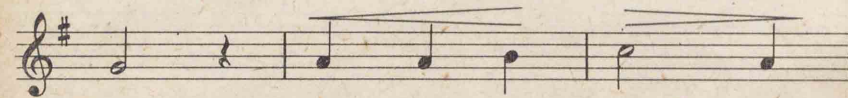
(郭 公)

German folksong.

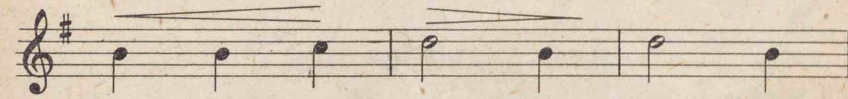
Andantino.



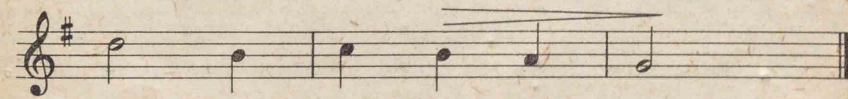
1. Cuck - oo, Cuck - oo, wel - come thy
 2. Cuck - oo, Cuck - oo, war - ble a -
 3. Cuck - oo, Cuck - oo, cease not thy



song ; Win - ter is go - ing,
 way ; Bring the sweet flow - ers,
 song ; When thou art roam - ing,



Soft breez - es blow - ing, Spring - time,
 Sun - shine and show - ers, Spring - time,
 Bright days are com - ing, Spring - time,



spring - time, soon will be here.
 spring - time, do not de - lay.
 spring - time, ha - sten a - long.

Twinkle, twinkle, little star.

(きらめく星)

Moderato.

Mozart.

mp

1. Twin - kle, twin - kle, lit - tle star; How I won - der
2. When the blaz - ing sun is gone, When he noth - ing

mf

what you are, Up a - bove the world so high,
shines up - on, Then you show your lit - tle ligh'

mp

Like a dia - mond in the sky! Twin - kle, twin - kle,
Twin - kle, twin - kle all the night. Twin - kle, twin - kle,

lit - tle star, How I won - der what you are!
lit - tle star, How I won - der what you are!

Are you sleeping?

(あしたの鐘)
(Canon)

Moderato.

Old French song.

I mf

Are you sleep - ing, are you sleep - ing?

II

Bro - ther John, Bro - ther John, Morn - ing bells are ring - ing,

Morn - ing bells are ring - ing: Ding, ding, ding, ding, dong.

Lightly row.

(漕げ 軽く)

German folksong.

Allegretto.

mf

1. Light - ly row! Light - ly row! O'er the glas - sy
2. Far a - way! Far a - way! Ech - o in the

mp

waves we go; Smoothly glide! Smoothly glide!
rock at play, Call - eth not, Call - eth not,

mf *mp*

On the si - lent tide. Let the winds and
To this lone - ly spot. On - ly with the

mf

wa - ters be Min - gled with our mel - o - dy;
sea - bird's note, Shall our dy - ing mu - sic float!

mp

Sing and float! Sing and float! In our lit - tle boat.
Light - ly row! Light - ly row! Ech - o's voice is low.

The bell is ringing.

(鐘が鳴る)
(Canon)

Silcher.

Allegretto.
I mf

Hark! the bell is ring-ing, Calling us to sing-ing,

Hear the cheer-ful lay, Come, come, come a - way!

II

Hark! the bell is ring-ing, Call-ing us to sing-ing,

Hear the cheer-ful lay, Come, come, come a - way!

III

Hark! hark! the bell is ring-ing, Call-ing us to

sing-ing, Come, come, come, come a - way!

The mill.

(水車)

German folksong.

Allegretto.
mf

1. The mill by the riv - u - let ev - er - more sounds, clip,
2. The wheel quick - ly turns and then round goes the stone, clip,

clap! By day and by night goes the
clap! And grinds up the wheat which the

mil - ler his round, clip, clap! He grinds us the corn to make
farm - er has sown, clip, clap! The bak - er then bakes us fine

nou - rish - ing bread, And when we have that we are
bis - cuit and cake; Oh, dar - ling good bak - er, such

dim.

dain - ti - ly fed. Clip, clap, clip, clap, clip, clap.
nice things to make! Clip, clap, clip, clap, clip, clap.

Old folks at home.

(故郷の人々)

Andante. *mp* Foster.

1. 'Way down up-on de Swa-nee rib-ber,
2. All 'round de lit-tle farm I wan-dered
3. One lit-tle hut a-mong de bush-es,

Far, far a-way, Dere's wha' my heart is
 When I was young, Den man-y hap-py
 One dat I love, Still sad-ly to my

turn-ing eb-er, Dere's wha' de old folks stay.
 days I squan-dered, Man y de songs I sung.
 mem-'ry rush-es, No mat-ter where I rove.

All up and down de whole cre-a-tion,
 When I was play-ing wid my brud-der,
 When will I see de bees a-hum-ming,

Sad-ly I roam, Still long-ing for de
 Hap-py was I; Oh! take me to my
 All 'round de comb? when will I hear de

old plan-ta-tion, And for de old folks at home.
 kind old mud-der, Dere let me live and— die.
 ban-jo tum-ming, Down in my good old— home?

mf

1.-3. All de world am sad and drea-ry,

mp

Eb-'ry-where I roam, Oh! dar-kies, how my

heart grows wea-ry, Far from de old folks at home.

滿洲國國歌

Maestoso. [♩ = 66]

滿洲國文教部 撰定

天 地 內 有 了 新 滿 洲 新 滿 洲
 天 地 內 有 了 新 滿 洲 新 滿 洲
 便 是 新 天 地 頂 天 立 地 無 苦 無 憂
 便 是 新 天 地 頂 天 立 地 無 苦 無 憂
 造 成 我 國 家 只 有 親 愛 並 無 怨 仇
 造 成 我 國 家 只 有 親 愛 並 無 怨 仇
 人 民 三 千 萬 人 民 三 千 萬 縱 加 十 倍
 人 民 三 千 萬 人 民 三 千 萬 縱 加 十 倍
 也 得 自 由 重 仁 義 尚 禮 讓 使 我 身 修
 也 得 自 由 重 仁 義 尚 禮 讓 使 我 身 修
 家 已 齊 國 已 治 此 外 何 求 近 之 則 與
 家 已 齊 國 已 治 此 外 何 求 近 之 則 與
 世 界 同 化 遠 之 則 與 天 地 同 流
 世 界 同 化 遠 之 則 與 天 地 同 流

God save the King.

(英國國歌)

Maestoso.

Carey.

God save our gra - cious King, Long live our
 God save our gra - cious King, Long live our
 no - ble King, God save the King!
 no - ble King, God save the King!
 Send him vic - to - ri - ous,
 Send him vic - to - ri - ous,
 Hap - py and glo - ri - ous, Long to reign
 Hap - py and glo - ri - ous, Long to reign
 o - ver us God save the King!
 o - ver us God save the King!

The Star-spangled Banner.

Moderato.

(星條旗)

Smith.



O — say! can you see, by the dawn's ear - ly



light, What so proud - ly we hail'd at the twi - light's last



gleam - ing? Whose broad stripes and bright stars, thro' the



per - il - ous fight, O'er the ram - parts we



watch'd, were so gal - lant - ly stream - ing? And the



rock - ets' red glare, the bombs burst - ing in



air, Gave proof thro' the night that our



flag was still there. O say, does that



Star - span - gled Ban - ner yet wave, — O'er the

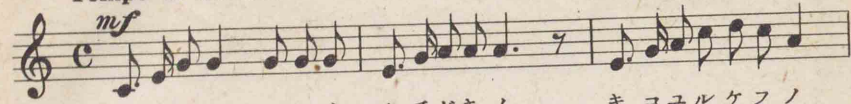


land — of the free — and the home of the brave?

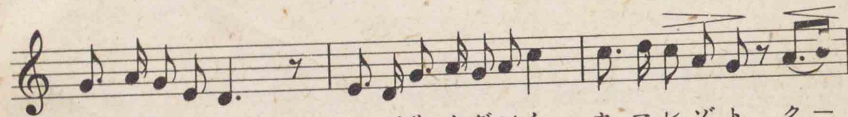
[参考曲]
陸軍記念日を祝ふ歌

Tempo di marcia.

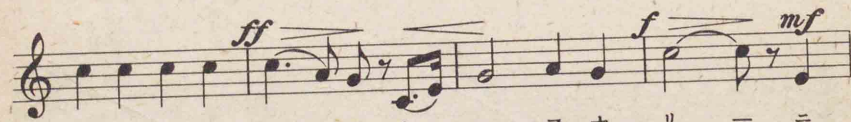
山田耕筰



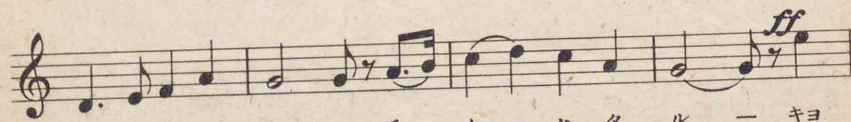
一. ホウテン センノ カチドキノ キコユルケフノ
二. とうあの ひかり まんもうに やくしんのかね
三. セカイノ ハシラ ワガニホン ドウバウスベテ



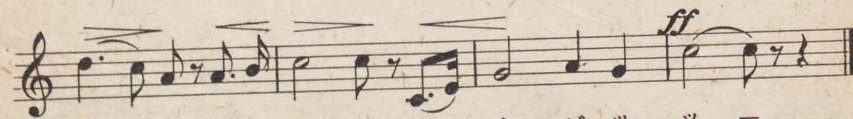
キネンビハ ワガリクゲンノ ホマレゾト クー
なりひびき せんわはみのる すぎしひの あー
クセンマン テツノムスビニ ギハオモク イー



ニタミア ゲーテ イーハ フナリ ニ
かきちしほ にき づきたる て
クタビヘ ヌール セーイ センノ カ



チロノエ キニチーカ ヒタル キヨ
んげふの みちゆーる ぎなく へ
ガヤクア トヲミーニ シメテ オ



コク イツチヲシーノ ビツツ
いわのらーく どはーる ふかし
ホーキアユミヤヒーノ ミハタ

陸軍記念日を祝ふ歌

一 奉天戦の勝鬨の

聞ゆる今日の記念日は

わが陸軍の譽ぞと

國民あげて祝ふなり

日露の役に誓ひたる

舉國一致を偲びつつ

二 東亞のひかり満蒙に

躍進の鐘鳴り響き

戦果は稔る過ぎし日の

陸軍省新聞班

赤き血潮に築きたる

天業の道搖ぎなく

平和の樂土春深し

三 世界の柱わが日本

同胞すべて九千萬

鐵の結びに義は重く

幾たび經ぬる聖戦の

輝く跡を身にしめて

巨き歩みや日の御旗

[参考曲]
海軍記念日の歌

Tempo di marcia.

海軍軍楽隊



一、ワ ガクウ コ ク ノ コ ウ ハ イ ヲ
二、た ふ と き ち を も も の と せ ぬ
三、ア ケ ユ ク ウ ミ ノ ハ テ ト ホ ク
四、き う せ ん ま ん の た み こ ぞ り



コ ノ イ ツ セ ー ン ニ ニ ナ ヒ ツ ツ ニ ツ ポ ン
ま ー す ら た け を の ち の う れ つ に そ そ う の
カ ガ ヤ キ ワ ー タ ル ヒ ノ ミ ハ タ フ ナ デ ニ
れ き し の ま ー き に き ざ ま れ し え い く わ う



カ イ ジ ャ ウ キ ャ ウ テ キ ヲ ク ー ダ キ シ ズ メ タ
み た ま し づ め ん と わ が お ほ き ー み の
ギ ハ フ ア ヤ ナ ミ ニ ノ ビ ユ ク ウ ー ミ ノ
た か き お も ひ で に こ こ ろ の ひ ー も を



ヨ ロ ヅ ヲ ニ ク ニ ノ ー イ シ ー ズ エ サ
お ほ み こ と い た だ ー く む ー ね の た
ダ イ ニ ヲ ン ヨ モ ー ヤ ス ー ミ に ケ
し む る と き せ ん ざ ー い つ ー ね に お



ダ メ タ ー ル ー カ ガ ヤ ク ケ
か な り ー に ー ひ び び く た
ン ゴ ク ー ノ ー タ カ カ キ も サ
ほ い な ー る ー せ い き に ふ



フ ノ キ ネ ン ビ ヲ ヲ
か し な み の お と
ウ ラ ア フ ギ お ツ
る へ や ま と だ ー ま ー

海軍記念日の歌

一 我が皇國の興廢を
此の一戦に擔ひつつ
日本海上強敵を
碎き沈めて萬代に
國の礎定めたる
輝く今日の記念日よ

二 尊き血をもものとせぬ
益荒猛男の忠烈に
祖宗のみ靈鎮めんと
我が大君の大勅
いただく胸の高鳴りに
響くも高し波の音

海軍軍事普及部

三 明け行く海のはて遠く
輝き渡る日の御旗
船路賑ふ綾波に
伸びゆく海の大日本
四方に八隅に建國の
高き理想を仰ぎつつ

四 九千萬の民こそぞり
歴史の巻に刻まれし
榮光高き思出に
心の緒を締むる時
千載つねに大いなる
正義に奮へ大和魂

聖 壽 無 窮

Grave. *mf* Wagner. 編著者 編曲

オウワガキミ シラセル ヤスケキオホ

ミーヨ タミグサハサ カエニサカユ

アマターナキ ソノクニ ブリア

フギテタ タヘヨワ ガキミワ ガクニ

オイカナル サチニカ コノヨニウマ

レシ .クニタミハラ カラ アフグ キミハ

ヨロヅヨ マデモサーカ エマセ

ヨロヅヨ マデモサーカ エマセ

聖 壽 無 窮

犬 童 球 溪

おうわが君知らせる安けき大御代

蒼生は榮えに榮ゆ

あまたなき 其の國體

仰ぎて讃へよ 我が君我が國

おう 如何なる幸にか

此の世に生れし國民同胞

仰ぐ君は 萬代までも榮えませ

萬代までも榮えませ

創立記念日

Allegro. 瀧田卯夫

mf

一. ウーレーシ ウーレーシ ケフノヨ キヒ
 二. た一のし た一のし けふのよ きひ

ウーレーシ ウーレーシ コノヨ キヒ
 た一のし た一のし このよ きひ

mp

ワレラガ マナビヤ ハジメテ ターチャーシ
 ひにひに あらたに ひかりを そへて

mf *rit.*

キネンノ イハヒビ メダリーキーヌ
 まなびの そのふぞ さかえゆーく

a tempo

ワレラガヨロ コピナニカタグーヘン
 いはひてうたへ やめでたきこのひを

ワレラガウレシ サナニトカイハン
 うたひていはへ やめでたきこのひ

創立記念日

近藤 清

一 嬉し嬉し 今日佳き日
 嬉し嬉し この佳き日
 我等が學校 創めて立ちし
 記念の祝日 めぐり來ぬ
 我等がよろこび 何にかたぐへん
 我等が嬉しさ 何とか言はん

二 樂し樂し 今日佳き日
 樂し樂し この佳き日
 日に日に新に 光を添へて
 學の園生ぞ 榮え行く
 祝ひて歌へや めでたき此の日を
 歌ひて祝へや めでたき此の日

萬 歳

古關吉雄

歌へ いざや高く
 榮ゆく御代に生くる幸を
 さし登る陽のごとく
 輝く國の姿を
 咲く花清らに
 壽ぎ笑まふうれしや
 啼く鳥朗に
 壽ぎ歌ふたのしや
 仰げ 仰げ 畏き御稜威
 歌へ 歌へ 聖の御代を
 あああああ 萬萬歳

萬 歳

Moderato. Bellini.

ウタヘイザヤタカク サカユクミヨニイクル
 サチヲサシノボルヒノゴトクカガ
 ヤククニノスガタヲ サクハナキョー
 トリホーガー
 ラニコトホギエマフウレシヤ ナク
 ラニコトホギウタフタノシ
 ヤアフゲアフゲカシコキミイツウタ
 ヘウタヘヒジリノミヨ
 ヲアアアアアアバンバンザイ

螢の光

スコットランド歌謡曲
 編著者 編曲

Moderato. *mf*

一 ホタルノヒカリーマドノユキ
 二 とまるもゆくもかぎりて
 フミヨムツキヒカサネツアツ
 かたみにおもふちよろづの
 イツシカトシモスギノトラ
 こころのはしをひとこと
 アケテゾケサハワカレユア
 さきくとばかーりうたふなり

螢の光

一 ほたるのひかり
 書よむ月日
 まどのゆき
 いかねつつ
 すすきのとを
 あけてぞけさは
 わかれゆく
 二 とまるもゆくも
 かぎりて
 三 こころのはしを
 ひとことに
 さきくとばかり
 うたふなり

卒業式の歌

Andante. 若狭萬次郎

mp (卒業生)

一 マ ナ ビ ノ ミ チ ー ラ バ タ ダ シ ク ー フ ミ キ テ
二 を し へ の ま に ー ま に わ ざ な し ー と げ つ る

mf

ハ ゲ ミ シ カ ヒ ー アル ケ フ ー ノ ハ レ ノ ニ ハ
し る し の ふ み ー え て こ こ ー ろ と き め き ぬ

mp (在校生)

ホ マ レ ニ カ ガ ヤ ク ユ ー ク テ ラ バ コ ト ー ホ ー ガ ン ー
の ど み に み ち た る か ー ど で を ば み お ー く ー ら ん ー

mf

ツ ー キ セ ヌ ナ ー ゴ ー リ ニ ム ー ネ ハ セ マ ー レ ド ー
さ ー り と て た ー も ー と を わ ー か ち か ぬ ー れ ど ー

mp (卒業生)

サ ラ バ サ キ ク マ セ ヤ シ ノ キ ミ ト モ ガ キ
あ は れ い や さ か え よ わ れ ら が ま な び や

(一同)

mf

ト ハ ー ニ ワ ス レ ジ ト シ ゴ ロ ノ イ ツ ク シ ミ
は な ー れ が た し や む つ び つ る を と め ど ち

mf

(ad libitum)

タ マ ア ヒ シ ー マ ジ ラ ー ヒ ー
ふ み な れ し ー こ の に ー は ー

卒業式の歌

堀澤 鹿峽

一 學の道をば正しく踏み來て
勵みし甲斐ある今日の晴の場
譽に輝く行手をば壽がん
盡きせぬ名残に胸は迫れど
さらば幸くませや師の君友垣
とはに忘れじ年頃の慈

魂合ひし交らひ

二 教のまにまに業なし遂げつる
證の書得て心時めきぬ
望に満ちたる門出をば見送らん
さりとて袂を分ち兼ねれど
あはれ彌榮えよ我等が學校
離れ難しや昵びつるをとめどち
踏み馴れし此の庭



昭和八年九月二十三日印刷
 昭和八年九月二十六日發行
 昭和十四年九月二十六日訂正再版印刷
 昭和十四年九月二十九日訂正再版發行
 昭和十五年九月十六日改訂再版印刷
 昭和十五年九月二十日改訂再版發行

不許複製
 轉載寫
 謄

編著者 若狹萬次郎

發行所 東京市芝區松本町四十四番地

代表者 白井保男

印刷所 共益商社書店印刷部

第一編定價金七拾參錢
 第二編定價金六拾七錢
 第三編定價金六拾壹錢
 第四編定價金七拾五錢

發行所

東京市芝區松本町四十四番地
 共益商社書店

電話 三田(45) 四四〇〇 五五八〇 七六〇〇

1979.11.8

第三学年三組五
岩村美恵子

茶子先生山中
村素書

広島大学図書

0130449450



教

42

013